



## 吉田浩章の司法書士日誌(8)

大阪・堺市堺区、三国ヶ丘の司法書士による「生き方」を考えるブログ。 相続手続・遺言書作成・名義変更・債務整理・住宅ローン等、「不動産」「お金」「家族」をテーマに活動。毎日更新中！

<http://office-yoshida.way-nifty.com/top/>



 **ココロ出版**



## 吉田浩章の司法書士日誌（8）

大阪・堺市堺区、三国ヶ丘の司法書士による「生き方」を考えるブログ。  
相続手続・遺言書作成・名義変更・債務整理・住宅ローン等、「不動産」  
「お金」「家族」をテーマに活動。毎日更新中！

2012. 01. 01

## 明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。

晴れ間も出て、一時の寒さも和らいだお正月になりました。

毎年と同じように祖母の家に親戚が集まり、特別に取り寄せてくれたカニをいただきました。お節の手土産もいただき、幸せなスタートです。

今年は、事務所開業10周年の節目の年になります。

いろいろな面で去年よりも厳しい年になると思いますが、また年末が来た時に、みんなが健康で、「よく仕事したな」「よく勉強したな」「よく遊んだな」と言えるような一年にできたらいいなあと思っています。

本年もよろしく願いいたします。

2012. 01. 02

## 気遣いと心配り

『ディズニーと三越で学んできた 日本人にしかできない「気づかい」の習慣』（上田比呂志著）を読みました。

料亭の家で生まれ、三越とフロリダのディズニーで仕事をしてきた著者だから書ける本。

ご自身が体験されたエピソードに基づいて書かれているので、とても分かりやすく、共感できる話ばかりでした。

お客さんへの接し方、日本人と外国人の違い、について書かれた本かと思って読み始めたのですが、自分の磨き方、社内でのコミュニケーション、マネジメントといった部分に多くのページを割かれていて、

接客業で働く人、部下を持つ人をはじめ、社会人の方皆さんにお勧めしたいです。

私の事務所のサイトでも、いつからか「気遣い」「心配り」という単語を入れていました。漠然とした言葉ですし、「できている」と言える自信はありませんが、

「お客様が何を求めておられるのか」を汲み取ろうとする意識は大事、とって仕事をしています。

## 2012. 01. 03

### 頭と心のバランスか・・・

12月22日のカンブリア宮殿は、CCCカルチャー・コンビニエンス・クラブ（TSUTAYAの運営会社）の増田宗昭社長。「Tカード」は、日本人口の3人に1人が持っているのだそうです。

利用者のほか、加盟店側にもメリットが大きいシステムであることを知りました。

私も利用しているTSUTAYAディスクスをはじめ、今もまだいろいろものを結び付けて、新しい企画をされている・・・

「創造力の価値は、どれほど顧客価値が既存のものとの差があるか。この差に価値があるべきで、新しさではなく、顧客価値の大きさが創造力だと思う」

「頭は自分を守るために使う。心は人のために使う。新しいものを産んでいくには、頭ではなく心が強くないと難しい」（番組中の発言より）

「素晴らしいなあ」と感じることをたくさん言っておりましたが、心に留めておきたい言葉です。

「悪魔のように大胆に、天使のように繊細に」

村上龍さんの編集後記にあった言葉も印象的です。

2012. 01. 04

## 嵐山温泉「花伝抄」

阪急嵐山駅徒歩1分の温泉旅館「花伝抄」は、昨年秋にできたばかりの新しいお宿。運営会社は、白浜の「海舟」と同じ共立メンテナンスです。



夕食は、和食のコース料理に加えて、「京のおぼんざい」と天ぷらの追加注文が自由。飲み物は、アルコールも含めて「フリー」

(基本料金に込みというのは初めてかも)。

5つの貸切風呂は、「予約なし」「追加料金なし」で使えるので、「この時間なら」という時間を狙って、2回違う風呂に入れました。

湯上り処には、夜はアイスクリーム。朝にはヤクルトが置いてあって、これも「ご自由に」とありました。



枕も自分の好きなタイプのものを選べる「枕処」があります。

各部屋は、ビジネスホテル並みの面積で、その分価格も抑えられていますが、食事処の従業員さんの感じもとてもよくて、居心地のいい空間でした。

**2012. 01. 05**

## **仕事以外の課題**

今日から仕事始めです。

正月休みの間は、2日に年賀状を見に少し事務所に寄っただけで、仕事には触れないようにしていました。追われていた状態から解放され、心身共にリセットさせてもらいました。

今年は、意識して増やしていきたい業務がありますが、それとは直接関係ないこととして、

- ・CFP試験の残り2科目をクリアすること（早く受かったほうが楽）

- ・事務所のfacebookページのコンテンツを増やしていくこと（一年間は書き込みを続ける）

あと、できれば

- ・ゴルフをきちんと習いに行く（今まで行けなかった方もコースを回りたい）

というのがあります。

やりたいことは、まずスケジュールに入れ込んでしまっ、後はその時その時に、時間のやり繰りを考えていくことになりそうです。

**2012. 01. 06**

## **様々な事情と選択肢**

今年初めての来所による相談。

年末は、登記関係のお仕事の割合も多くて、決まっているはずの回答を探していたり、一定の枠の中で頭を使っている時間が長かった気がします。

いろんな方法がありますが、どれがいいでしょうね？  
そういう選択をすると、後でこんな問題が生じる可能性はないですか？

といったお話しをしていると、しばらく使っていなかった思考が働いていると感じます。

しかし、私がいいと思える選択肢も、ご家族の事情はそれぞれなので、それが個々のご相談者にとってベストだとは言い切ることができない、というのは前提としてあります。

**2012. 01. 07**

## **見やすく伝わりやすく**

今日は、事務所で研修を聞いたり、2年分の相談票の整理をしたりしていました。

ご相談はあったけど、業務を受託せず、相談だけで終わった方。今まで、年度ごとに相談票を綴ってきましたが、早いうちに、五十音順にしておくほうがいいのかもしれない。

覚えておくのも限度があるので、しばらく経って、「あの時相談した…」と電話があったりすると、慌てることもあります。

明日、お持ちする予定の資料も用意。

スタッフが作ってくれていたものですが、一度ダメ出ししてしまい、もう一度仕切り直し。伝えないといけない情報はたくさんありますが、1枚にそれを詰め込みすぎると「見るだけで疲れた」「読む気もしない」になる可能性もありますし、どうやったら伝わるか、というのは難しい部分です。

自分が説明するとなると、微妙な表現なんかも気になって、軽く修正させてもらいました。

**2012. 01. 08**

## **映画「阪急電車」**

阪和線の東岸和田駅で下車。

「車内温度維持のため」降りる人はボタンを押してドアを開けるように、とアナウンスがありました。

旅行先の電車ではあることですが、それが地元の電車で…と、少しショックでした。それだけ、節電のために暖房の温度を抑えている、ということなのでしょうけど。

夜は、DVDで借りた映画「阪急電車－片道15分の奇跡」を見ました。

片道の15分間で、どんなドラマができるのかと思っていたら、復路がありました。

いろんな背景を持つ人が偶然同じ電車に乗り合わせ、ちょっとした接触がきっかけで人生が変わっていく…。

なかなか電車の中で知らない人と話すことはありませんが、実際にも、それだけ周りの人から受けている影響って大きいものなのだろうと思います。

**2012. 01. 09**

## **「相性」を読んで**

「相性」（三浦友和著）

三浦友和といえば、映画「沈まぬ太陽」で演じていた悪役のイメージが残って、本当に悪い人なんじゃないかと思って、映画を見ていましたが、



「いままで演じていた役は、全部自分の中にあったものを引っ張り出してきたもの」（本書の表現より）だそう。でも、なかなかそう認めることも、できないものかもしれません。

少年時代、青年時代のこと。初めての仕事が入った時のこと、結婚を決めた時のこと・・・。

結婚後のことの中では、妻百恵さんのこと、子育て論も含めていろいろなことが書かれていますが、決して順風満帆なわけではなかったこと、「幸せ」を感じる部分は、一般の人と何ら変わらないことを知りました。

自分自身いろんな経験があるから、その分引き出しが増えるし、仕事の幅も広がる。

私たちの仕事にも、そういう面があるように思います。

**2012. 01. 10**

## **相手を選べるならば？**

クリスマスから続いていたイベント・連休も終わって、本格的に一年が始まった気がします。毎年のように、堺戎（菅原神社）に。

空きのパーキングを探すのにウロウロするのも、毎年のことです。

何が、何となく、今年は路上駐車が多いような気もしました。縁起物を買うのに、手が空いてそうな女性の福娘さんの列を探します。

隣の男性の販売員さん（？）の手が空いているのに、私の後ろには、わざわざ順番待ちに並んだ男性の2人組み。



物は同じでも、誰から渡してもらうのかで、縁起の良し悪しがあるような気がするのも「何となく」です。

**2012. 01. 11**

## **小遣いの管理方法**

借り入れの事情の中で、「家計から小遣いをもらえないため、ご主人がカードで借金して小遣いを工面していた」という事情が含まれる案件。

余計なお世話ですが、破産申立の陳述書を作るためにお話を聞きながら、「これからの小遣いのことは、ちょっと考えませんか」と、ご夫婦の前でお話ししていました。

お金のことで行き違いがあったり、信頼関係がなくなったりして、

「夫の小遣いのことは知らない」

「夫が勝手にすればいい」

状態になっているご夫婦もいらっしゃいます。

背景はさまざまだと思いますが、締め付けるだけでは解決にならないこともあるので、話し合いの中で、双方に問題がない方法を考えてもらえたら、と思います。

**2012. 01. 12**

## **仕事とそれ以外の比重**

1月10日の読売新聞「カオスの羅針盤」には、元国連事務次長の明石康さん（80歳）、脚本家の倉本聰さん（77歳）が、ライフスタイルについて語られていました。

明石さんは、『今こそ「働き蜂」復権』のタイトルで、

『全身全霊で仕事に取り組む猛烈人間がすっかり少なくなってしまう』『ライフとワークは相反するのか。皆が五分五分である必要がありますか。私自身、「ワーク」が「ライフ」そのものだった頃がありました。カンボジアと旧ユーゴスラビアのPKOに関わっていた時代は睡眠と食事以外はすべて仕事』(以上紙面から引用)

倉本さんは、『「足るを知る」が幸福』のタイトルで、『現代の父親が、「仕事で忙しい」ことを理由に、家族と過ごす時間を削っているのは、やはりおかしい。8時間は寝て、8時間は働き、残り8時間は本来は家族と過ごすという、自分の時間のはず』(以上紙面から引用)

と、相反するようなことを主張されていますが、どちらの言い分にも一理ありだと感じます。

結局、その「バランス」というのは、最初から「こうだ」と決めておけるものではなくて、仕事を立て込んでいる時は仕事だけの生活になるのは当然でしょうし、そっちに偏り過ぎたと思えば、意識して家族と過ごす時間を作ったりして、その時々調整していくしかないように思っています。

**2012. 01. 13**

## **光熱費の変化**

昨日、岸和田の簡裁の法廷では、被告と司法委員さんの姿がなく、変わってきた景色を実感していました。

一方、今日の堺簡裁では、個人が訴えられている案件が多く、進行が遅れていました。

裁判官は、ゆっくり、丁寧に、和解条項の読み上げをされています。

私にとっては聞き慣れた言葉も、それでも、はじめて耳にする方に、どこまで伝わるのかは難しいはずなので、事務所の中でも気を付けないとあゝ・・・という目で見ていました。

さて、「マイベストプロ大阪」のコラムに、引越しと光熱費の変化のことをまとめてみました。

我が家の場合、転居を境に「2割UP」どころか、「5割UP」であったことに今頃気付き、びっくりです。

前提が違うのは、同居人が、平成19年までは妹、20年からは妻になっていることです。奥様が「ものすごく浪費家」ということではない限り（それはないはず？）、関連性があるのは明らか。ちなみに、光熱費の金額は、家族構成にもよりますが、それでもご家庭によって全然数字が違ってくるものです。

**2012. 01. 14**

## **「野村克也に挑んだ・・・」**

「野村克也に挑んだ13人のサムライたち」（橋上秀樹著）を読みました。

サブタイトルは、『「大成した選手」と「消えた選手」その違いはどこにあったのか?』。

今の私からすると、「上の人が言っていることは、素直に受け止めたほうが…」と思いますが、勤めている時に読んだのであれば、反発しようとする側の気持ちも分かるのかもしれない。

本書に取り上げられている人を大まかに分けると、

監督の言っていることを理解し、自分に何を求められているのかを考えた人は残って、

忠告を聞き入れなかった人、謙虚になれなかった人は消えていった…

ということを伝える構成（そのことだけが書かれているのではありませんが）になっていると思います。

野球の世界だけの話に限らず、「生き方」を考えさせられる本です。

**2012. 01. 15**

## **ゴルフスクール（体験入学）**

夫婦で、ゴルフスクールに通い始めることにしました。

とりあえずは、2回限りの体験入学コースに。

全打席ではありませんが、打席の前に画面が付いていて、一振りするたびに、自分のフォームが映像で流れます。



屋外の練習場と、インドアとどちらにしようかと見比べていましたが、今日教えていただいた先生曰く、「インドアのほうが上達が早い」のだとのこと。

パターの練習から入って、構えの基本姿勢をどうやって作るか等、クラブを振りまわす前の問題がたくさん・・・。

今まで完全な自己流で、飛んでいく打球を見ては一喜一憂していましたが、基礎もないままよくやっていたなあ・・・というのは、これから徐々に感じることになるのでしょうか。

**2012. 01. 16**

## **「そこまではるか」のレベル**

南海の三国ヶ丘駅工事のため、駅前のマクドナルドも閉店になりました。

本屋さんのシャッターが下りて、寂しくなっていたところ、夜は暗くて、余計に寂しさを感じます。

「人が集まるとこ」だと感じて、事務所を置く場所を選んだ駅です。

たくさんお店があって、にぎわう場所であって欲しいです。

さて、今日は事務所のスタッフが、私が「そこまでなくていいよ」と言うところまでやってくれていました。

しかし、後から考えると、依頼者の方からすると、そこまで「求めていること」だった可能性があります。

依頼者の方のご期待に応えるためにも、事務所の中で、お互いに「そこまではるか」と感じるくらいの環境でなければいけない、ということなのだと思います。

**2012. 01. 17**

## **全体の利益と個々の利益**

年金の過払いのニュースを見聞きすると、もらい過ぎた人には戻してもらわないと、不公平じゃないかと感じます。

しかし、実際に返還の請求を受けている方がいらっしゃって、戻すにも戻せない現実を知ると、今さら言われるのも酷だろうと思うものです。

生活保護についても、自分の依頼者の方が、何とか受けることができないものか、と考えることがあります。

しかし、受給者が増えて、自治体の財政が圧迫されているという現実を見ると、不正受給の防止も含めて、もう少し審査が厳しくてもいいんじゃないか、と思います。

みんなが節約しだすと、経済が回らなくなる、ということなんかも同じですが、

全体から見た利益と、個々の利益が一致しないことがあることを、認識した上で物事考えないといけないのでは？と感じることが、いろいろとあります。

**2012. 01. 18**

### **一時のための代償**

年金担保融資で借りておられる方の案件が続いていて、その用途と今後の生活を思うと、制度自体がどうなのだろう？と考えてしまいます。

制度は必要でも、貸し方に問題あり、なのかもしれません。

貸付時に保証料を引いて、返済は年金から天引き。

団信も付いていれば、これほどリスクのない貸し方はないです。

年金担保融資でもリスクに応じてくれるそうですが、金融機関に住宅ローンの返済猶予をしてもらおう際、連帯保証人を付けさせられた方もいらっしゃると思います。

一時をしのぐための代償は、大きいです。

**2012. 01. 19**

### **私は駅前を優先**

『これで完ペキ！「王道」の住宅選び』の見出しにつられて、「週刊ダイヤモンド」を買ってしまいました。

本文が、「2012年の年明けから春先までは、住宅を買うには絶好のチャンス」（本書の表現のまま）から始まり、主に首都圏の新築マンションの案内が続きます。

先に中をめくってみるべきだったか・・・と後悔しましたが、リスクへの備えについては、「ハザードマップ」の他にも、「表層地盤のゆれやすさ全国マップ」（←大阪は揺れやすい地域になっています）等があることも知れて、事前に調べれることは、確認しておくべきなんだなあ、ということを感じました。

関西圏226駅別「住宅地評価一覧表」では、「ひと目でわかる駅力」が、「利便度」「安全度」「公共度」「文化度」「育児度」が評価されています。

しかし、同じ駅でも「徒歩何分」の場所に住むのかとか、「快速（急行）が停まる駅か」とか、その人が「何を優先するか」という価値観によっても違ってくると思うので、ポイントでは「優良」とされていても、誰もが「住みやすい場所」だとは限らないものです。

## 2012. 01. 20

### やっと動き出した感じ

年が明けて3週間経って、やっと仕事も動き出した感じです。年末は、「その時」にしないといけないことがたくさんあって、追われ続けていたのですが、ふと仕事が止まると勝手なもので、今度は逆の不安が生じます。

期日指定の業務が立て込むと、自己破産や個人再生の申立準備が、滞ってしまっています。

「必要な書類がなかなか来なくて、進まない…」のですが、依頼者の方だけが悪いのではなくて、自分たちの対応にも非がないかも考えないといけないよ、という話をしていました。



書類が足りていない現状でも、準備すべきことはちゃんとできているのか。

極端な話、「電話がつかまらない・・・」となる前に、申立することはできなかったのか、ということですね。

**2012. 01. 21**

### **後々にまで生きる意思**

今日は、任意後見人受任者である娘さんにも同席してもらい、任意後見契約のご説明に行ってきました。

娘さんが把握されていなかったこともある中、普段、話をされないうちかもしれないことも確認してもらえて、いい機会だったようです。

過去に作成のお手伝いをさせてもらった「尊厳死の宣言書」は、かかりつけの病院のコンピューターにも登録されていて、医師もその公正証書があることを前提に話をしてくれている、とのこと。

現時点において、周りの意向より、ご本人の意思が尊重されるのは当然ですが、後々にまでそれを生かしてもらえることが分かれば、よりお手伝いのしがいがあります。

**2012. 01. 22**

### **表に出てくるもの**

6月のCFP試験に向けて、今週から勉強始めました。  
次は「リスクと保険」。

毎回直前からのスタートで、後悔の繰り返しなので、余裕のある今のうちに。問題集を一通り解き終えると後は楽なのですが、そこまでが苦痛です。

ゴルフのレッスンは、4回分の予約を入れました。

映像で見ると、自分の背中が明らかな猫背である（+太い）ことが分かります。

一方、先生の姿勢は普段から真っ直ぐで、余分な肉が付いていません。

普段のトレーニングの積み重ねが、表に出てくるんだなあ…ということが分かります。

**2012. 01. 23**

## **仲介業者さんなしの売買**

午後からは、すきま風がヒューヒュー音を出していました。

今年の冬は、まだ雪を見ていませんが、これから寒くなっていきそうな感じです。

風邪も流行っているようで、お客様から「先生も、予防接種しといたほうがいいよ」と言われたりもしますが、「注射は恐いのです…」です。

さて、うちみたいな形態の事務所であっても、お受けする売買の登記は、ほとんどが仲介業者さんが入られている案件です。

なので、以前は、仲介業者さんなしの売買のお話があっても、身構えてしまう面もあった気がしますが、最近では逆に、そこでお役に立てることがあるのではないかと考えています。

登記に限らず、売買の手続きに必要な知識は備えておかねば、と思います。

2012. 01. 24

## 古くから生き続けるもの

「本家小嶋」の「茶子餅（けしもち）」「泰平餅（たいへいもち）」をいただきました。

その価値を知らず、「これ、おいしい・・・」「この柔らかさは何??」と思って食べていると、「堺の土産として有名」であることをスタッフに教えられました。

箱を持った感じから、何かが違うと感じていました。

創業は、天文元年（1532年）だとのこと。

新しいものもいいですが、古くから生き続けているものの良さを実感した時でした。私も何かの機会に使わせてもらいます。



2012. 01. 25

## 「マクド」と「マック」

日経新聞の夕刊に、「マクドナルド」略称が「マクド」なのか「マック」なのか、という調査結果が出ていました。

うちでは昔から「マクド」ですが、「マクド」を使う人の割合が60%以上なのは関西の5府県だけで、全国では「マック」派が主流、とのこと。

司法書士の仕事では、不動産売買の際の「売主費用」の有無も、地域によって異なるようです。

東京の会社さんに、普段と同じように見積書を出したところ、「今まで一回も払ったことがない」と言われ、はじめて気付いたことです。福岡でも「なし」らしいです。

私としては、売主買主が別々の司法書士を用意して（同じこともありますが）、それぞれが費用を負担してもらえる大阪でのやり方が、断然お仕事をやりやすいです。

**2012. 01. 26**

## **事件簿の整理と進捗管理**

提出期限（1 / 31）が迫ってきた司法書士会への業務報告書。昨年の事件簿の整理をしてもらっていましたが、報告書の仕分け方が今回から変わっていることに今頃気付いて、もう一度仕切り直しです。

普段意識してはいませんが、ひとつの業務の中でも、どこかまでかが行政書士であったり、どこかまでかがFPであったりします。資格がなければできない業務、なくともできる業務も混ざっています。

事務所内での業務の進捗管理に、何かソフトを入れようかと考えていましたが、使いこなせない気がするので止め。

その代わりに、それぞれの仕事リストを書き出す際、私が「□まだ見ていない」を付けておいて、各自「△確認済」「▲着手中」「■完了」という印を入力してもらうことにしました。

担当の本人が認識してくれているか、誰が何をしているのか（ということに、各自が関心を持ってくれることを願っています）が、少しは分かりやすくなった気がします。

2012. 01. 27

## 勉強と実務の関係

明日から簡裁代理権取得のための特別研修に入るスタッフに、テキストをチラッと見せてもらいました。

「訴状の間違い探し」の問題を見ると、実際の訴状をチェックしているのと同じ目で見えます。

司法書士の受験勉強と違い、研修前に、実務の中で裁判業務に携わっているかどうかで、勉強の負担は全然違ってくるような気がします。

仕事の中で、「自然と身に付いていく」力は大きいです。

2012. 01. 28

## 「・・・トク！」とは限らない

「マイホーム、買ったほうがトク！」(藤川太著)

というタイトルですが、条件によって「買ったほうが家計に有利になることもあるし、借りたほうがいいこともある、としか言いようがない」(本書から引用)というのが結論のようです。

であれば、誤解を生むようなタイトルを付けるのは間違いなのでしょうけど、

住宅選びのポイントについて、様々な角度から説明されていますので、これから購入を考える方にはお勧めの本です。

「どっちが得か」については、私も一時、何とか結論を出そうと計算していた時期もありますが、最初に設定する条件で結論が違ってきますし、先のことは分からないのも現実。

住宅を所有することで、数字では計算できない価値が生じることもあります（ということが、私にも理解できるようになってきました）。

でも、メリットとデメリットは分かっておかないといけないことと、落とし穴に気をつけよう、購入するとしてもどのような住宅を買うか考えよう、という問題提起が含まれているように思います。

**2012. 01. 29**

## **金属の裏にあった問題**

昨日今日と歯医者に。

先月も書いた話の続きですが、他所の歯医者で「様子を見ましよう」と言い続けられていた部分、歯に被せられていた金属を外すと、中で歯が溶け始めていた、とのこと。

今となっては、「痛み」「違和感」という自分の感覚を、もっと大事にすればよかった…と後悔です。

虫歯に限らず、身体が発しているサインは、ちゃんと受け取るようにしないといけないですね。

たくさんおられる職員の方の感じも良くて、予約していても、待合室にはいつも順番待ちの人がたくさん。繁盛しているのは医師の技術が優れている結果、という評価もあったので残念なことになりましたが、

私自身も国家資格者のひとりとして、その責任の大きさを実感させられた出来事にもなりました。

**2012. 01. 30**

## **市町村別のデーター**

夕刊には、日経新聞にも一般紙にも、今日発表された「将来推計人口」が出ていました。50年後、私も亡くなっていなければ88歳になりますが、65歳以上の高齢者の割合が40%になるとのことです。

将来の人口予測については、一昨日書いた「マイホーム、買ったほうがトク！」(藤川太著)にも書かれていたのですが、「日本の人口が減るといっても、一律に減っていくわけではないことに注意したい」(同書の表現のまま)という点には、考えが及んでいませんでした。

不動産の価格は、人が増えるか減るかによっても左右される、ということですが。

国立社会保障・人口問題研究所のサイトにも、本に掲載されていたのと同じ都道府県別、市町村別のデーターが載っているのですが、大阪府の中でも、人口の増えることが予測されている市、減ることが予測されている市のあることが分かります。

**2012. 01. 31**

## **登記識別情報の再作成**

今日は、不動産の売買で、私は買主側の司法書士。

決済の場で、売主買主双方の書類が揃っている場合は、たいてい、買主側の司法書士がまとめて預り、法務局に提出しに行くのですが、今日は、売主さんが抹消すべき抵当権の登記識別情報のシールが剥がれないため、法務局まで一緒に出向きました。

「登記識別情報（権利証）の再発行はできない」というのはごく基本的な知識としてあることですが、平成21年10月までに発行された登記識別情報については、「登記識別情報を再作成する手続」があるということ、今まで見落としていました（売主の司法書士さんにご存知でした）。今回は、法務局の職員の方が手慣れた手つきで剥がして下さいましたが、シールが剥がれるかどうかは、当日現物を手にして剥がしてみないと分からないことですから、いざとなった時、金融機関が再作成のための委任状に印鑑を押してくれるのかなぁ・・・という疑問は残ります。

## 2012. 02. 01

### 気にする気にしない

事務所中での会話。

会社の印鑑証明書を郵送で請求するのに、法務局からの返信用は小さな封筒でいいですか（折り曲げて入れてもらっていいかどうか）と、確認されました。自分の感覚では、折られるのが嫌なので、と。

そう言われてみれば、私も元々は登記簿謄本を折り曲げられるのが嫌で、大きな封筒に入れていたものです。

郵便局で配達される途中で丸められても困るので、返信用封筒に押す「折曲禁止」というスタンプまで作って・・・。

しかし、オンラインで申請した登記簿謄本は折られて届くので、いつの間にか気にならなく（できなく）になりました。

そんな話は、事務所の中にある様々な要素のうち、ほんの一例で、私の「細かさ」がどの程度のものか分かりませんが（「そんなこと、どうでもいい！」と思われている事務所のルールは多々あることでしょう）、



「私よりも細かい」のは歓迎。逆に、そうあって欲しい、とは思っています。

**2012. 02. 02**

## **「教える」か「学ぶ」か**

今朝の日経新聞スポーツ欄、「チェンジアップ」（豊田泰光）のコーナーに、いいことが書いてありました。

タイトルは、「自ら学び、育てこそプロ」。

『手取り足取り教えてくれるような先輩ばかりでは、今の私はなかった。コーチ時代の経験も含めて言うと、伸びるやつは勝手に学び、ひとりだに育つものだ。教えられて伸びるやつはまずいない。（中略）

プロには「教える」「育てる」はない。「学ぶ」と「育つ」があるのみ。』（以上引用です）

私自身、勤めている時は、注意され、怒られ、イコール教えていただいたわけで、勝手に育ったわけではありませんが、プラスα、もっと自分の頭で考えて仕事なり、勉強をしなければならなかったと思います。

それをするかどうか、結局はその人の気持ち次第ということになるので、今、立場が変わって、豊田さんが書かれている意味がよく分かります。

**2012. 02. 03**

## **まずは方向を確かめて**

夕方、近鉄電車の人身事故の影響を受けてしまいました。

1時間は動かないだろうと弥刀駅で降り、線路から離れないよう適当に歩き始めましたが、細い道が続く住宅街。タクシーに乗れたのは、歩き始めてから35分後でした。

電車が動くまで、「どこか落ち着ける場所を探す」という選択肢もあったはずですが、次の予定があったこともあり、歩いてでも、家（事務所）に近付こうとするのは本能なのかも・・・。

そんなことで、今日歩いたのは14,260歩。

駅と駅の間で止まって、電車に閉じ込められなかったのは幸いでしたが、方向も確かめずに歩き出すのは間違い（仕事でも同じですね）。

もしまた同じようなことがあれば、「動くまで待つこと」も考えられるように、と思います。

## 2012. 02. 04

### おごと温泉「あがりゃんせ」

天気も良かったので、雄琴温泉（今は「おごと温泉」）まで足を伸ばしました。

「スパリゾート雄琴 あがりゃんせ」で日帰り入浴。

レストルームから、琵琶湖を眺めれるのはここならではの、です。

囲いがあって、露天風呂から外を見れないのが残念でしたが、温泉も良くて、ウトウトした後、もう一度風呂に入って帰ってきました。



パンフレットで見ていると、他の旅館も良さそうですが、泊まりで来るならやっぱり琵琶湖グランドホテルの「京近江」(写真)。

存在感がダントツです。



**2012. 02. 05**

## **タニタの体組成計**

「タニタの社員食堂」を取り上げられていた「ソロモン流」を見返し、試してみたくなった体組成計。

体重のほか、BMI、体脂肪率、筋肉量、内臓脂肪レベル、基礎代謝量、体内年齢が測れます。



2月に入ってから記録を残すようにしていますが、週末に向かって徐々に数字が悪くなり、昼食にバイキングを食べた昨日は最悪です。

数字は正直なので、体調管理と自制するためのツールとして使っています。

「タニタ式カラダのひみつ」を読んで、「肥満」←「年齢による基礎代謝量の低下」←「筋肉量の減少」の関係を理解しました。太ることが、さまざまな病気につながってくることも。

2012. 02. 06

## 「本当のところ」を見分ける目

先日、食べログの不正投稿が問題になっていましたが、今日はお客様から、自社で運営されている別のサイトでも、似たようなことが行われているのかも？という話をお聞きました。

このブログからリンクを貼っている「ブログランキング」なんかも、自分のアクセスでもカウントされます。なので、「お遊び」と割り切って、見ておかないといけません。

一方、私のサイトのアクセス解析では、自分のログはカウントされないように設定しています。自分のアクセスまでカウントされると、「本当のところ」が分からなくなるので、当然です。

事業者側に立つと、消費者に選別される目が厳しくなっていると思いますが、消費者側に立つと、ある程度情報が作られていることを前提に、

「本当のところはどうか」を見分ける目が、ますます必要になってくるように思います。

2012. 02. 07

## 「七割で良しとする」か・・・

書類をお届けするという名目で、経営者の方をご訪問。

雑談の中で、背景は違えど、組織が抱える課題というのは、大きく変わらないのかもしれないなあ…ということを感じました。

しかし、会社の社長様と接する以上、経営者の悩みを知らないと、見ないといけない部分も視野に入らなくなる可能性があります。なので、日々、同じような課題を持ちながら仕事をさせてもらえるのは、必然なのかもしれません。

昨日のNHKプロフェッショナル「言葉のチカラSP」で、星野リゾートの星野佳路さんが、「リーダーの心構えを教えてくれた言葉」として、  
学生時代に運動部の監督に言われた「おまえが考える七割でよしとして、ほめてやれ」を上げられていました。  
なかなかできないことですね…。

**2012. 02. 08**

## **続けるということは…**

先週のカンブリア宮殿は、セイコーマートの赤尾昭彦会長。  
大阪にいる私には、聞いたことがない名称でしたが、「北海道を制したコンビニ」「地域を救うコンビニ」というフレーズで紹介されていて、大手とは違う方法で、過疎化が進んだ地域の生活を支えている、という話でした。

「続けるということは、別な意味で言うと、変わり続けることだと思うんです。気が付いたら、時代に合わなくなってしまう、というのは困るんですね。(中略)

世の中を悪いと言うが、世の中が悪いんじゃなく、悪くなることは前から分かっている。いいことなんか続いたことないんじゃないかと、私は思っている。」(会長の言葉より)

「変わり続けること」が大事なのは、いろんなところで見聞きしますが、「いいことは続かない」を頭で分かろうとしても、それを本当に理解して行動に移すのは、容易なことではないかもしれません。

2012. 02. 09

## 住基カードの使い道

「〇〇〇を装った請求が増えているので、気を付けて下さい」と電話がありましたが、その電話の相手方も本当に〇〇〇の方かどうかは分かりません。

目の前にいらっしゃるのがご本人かどうか。

本人確認は、司法書士にとって、悩ましい問題であることがあります。

今日は、区役所に住基カードを持参し、公的個人認証サービスによる電子証明書を取得してきました。成年後見人個人として、成年後見関係のオンライン申請に使う目的です。

本人確認の一般的な方法は、写真付の運転免許証ですが、免許を持たれていない方もいらっしゃれば、保険証しかないご高齢の方もいらっしゃます。

本来は写真付の住基カードを全員が持って、それを提示する（もっと言うと、対役所に限らず、住基カードを使って、その場で本人のものかどうか確認するシステムができる）のが一般的になればなあ、と思います。

2012. 02. 10

## 「便利」にたどり着くまで

しばらく、インフルエンザにかかったご家族の世話に追われていたスタッフが、とうとう自身もインフルエンザに…。

小さい事務所で広がるとまた大変なので（と書くと、冷たい言葉になりますが）、事務所の仕事のことは気にせず、ゆっくり休んで欲しいと思います。

テレビでやってましたが、薬で熱が下がったからといっても、すぐに会社や学校に行ったらダメなんだそうですね。

そんなことで、自分で操作することになった商業登記の「タスカル」(＝司法書士の業務支援ソフト)。

「タスカル」は、不動産、債務整理、成年後見、請求書と、全てにおいて便利に使わせてもらっていますが、商業だけは私にとって使い勝手が良くなって、今まで2回挫折していました。

今回が「3度目の挑戦」ということで、新しいバージョンをセットしてもらい、ちょうど予定していた案件が動き始めましたが、私自身が触るとやはりダメ。「ワードのほうが早い」と、今までどおりの方法で議事録を作成してしまいました。

**2012. 02. 11**

## **「働き方の教科書」**

「伝説の外資トップが説く 働き方の教科書」(新将命著)。

前書きが「原理原則」という言葉から始まり、「・・・すれば人生はうまくいく」という言葉に続きます。

しかし、それは単なるテクニック論ではなくて、著者の経験に裏打ちされた深い話ばかり。「働き方」に限らず、「生き方」を考える上で、まさしく「教科書」として手元に置ける本だと思いません。

「人財－人材－人任－人罪」の言葉の比較は、よく目にしますが、「自燃型人間－可燃型人間－不燃型人間－消化型人間－点火型人間」

「一点深堀り型－幅広浅堀り型－幅広一点深堀り型－幅広二点深堀り型」

といった独特の表現も、説明を読むと分かりやすく、自分に足りない部分が見えてきます。

しかし、少なくとも、著者の言う「目標人間」でありたいと思いますし、「自己実現」のために仕事をしていたいとも思います。

**2012. 02. 12**

## **「ズルい仕事術」**

「ズルい仕事術」（勝間和代著）を読みました。

「ズルい」という言葉を聞くと、マイナスの印象を持ちますが、著者は「ズルい仕事術」のことを「単位時間当たりの生産性を上げること」と定義。

そのためには、「嘘をつかない」「陰口・悪口を言わない」「秘密を守る」という当たり前のことに行き着く、というのが結論でした。

全体を通して、私の事務所の中にも通じる話がいろいろとありました。

「仕事で付加価値を出すこと」は、結局のところ、お客様のお役に立つことだと思うのですが、ひとつの仕事にどれだけ時間を費やしたとしても、結果を出せなければそれまで、です。

「相手は変えられない」とか、「帽子を変えて考え直してみる」とか、仮説を立てることや自己分析の必要性とか、「そのとおり」と納得しつつも、普段、違った方向に力を使おうとしていることや、なかなかできていないことが多いのも分かります。



2012. 02. 13

## 全ては仕事のために

毎年と同じく、去年のブログ本が届きました。

去年の11月頃は、個人のフェイスブックとの区別がつかなくなり、「毎日、プライベートでネタを見付けよう」と考えていました。方向性がブレていました



が、結局、「仕事以外で」というのは無理でした。

でも、それでよかったのかもしれない。

昨日の「ソロモン流」で、由紀さおりさんが「今までは迷いがあつた、結構辛かつた」という話の後、

「今は、こうやってお食事をいただいたり、お風呂に入ることも、睡眠をとることも、全ては明日歌うためです」

と言われていました。そういう感覚は、分かります。

2012. 02. 14

## 全体に目を配ること

先週のカンブリア宮殿は、進化する歯医者さんの設備、技術とサービスについて。

ゲストは、「国内最大級の歯科グループ」と紹介されていた、医療法人徳真会グループ理事長の松村博史さん。

「経営」に対する考え方、「感性を磨く訓練が必要」といった話も含め、司法書士の世界にも通じるのかも・・・という話がたくさんあつた気がします。

司会の村上龍さんが、「経営はダメだけど、医療技術は素晴らしい、というところはない」と言われていたのは、頭に留めておきましょう。

びっくりしたのは、院内全体に目を配り、場を仕切りながら、「先生、カルテを投げないで」という注意までされていたマネジメントリーダーという立場の女性。

「全体を見る」ことは、ウチの事務所では容易なことではないです。

その中でも、できる範囲で、他の人が今何をしているのか、関心を持っていて欲しい、とは思っています。

**2012. 02. 15**

## **事務所の数だけやり方が**

今日は、成年後見の申立と面接でした。

しかし、面接担当の参与員の方が司法書士さんだった、というのは想定外。

同業の先生に書類を見られるのは、何となく、裁判所や法務局の職員の方に見られるのと違った緊張感があります。

間違えていたら格好悪い、という意識が強く働くのかもしれない。

売主、買主に別の司法書士がついて、売買の書類を見てもらうシーンでも同じなのですが、逆に見せてもらう立場に立つと、「ああ、こんなやり方もあるのか」と参考になります。

結果が決まっている業務であっても、事務所の数だけ、やり方があるものだと思います。

**2012. 02. 16**

## **電話相談と対面相談**

今日は、相談センターからのご紹介による相談です。

私をご紹介下さったのもたまたまだと思いますが、ちょうど三国ヶ丘に別の用事がありだったとのことで、すごい偶然ですね・・・というお話をしていました。

事前に、電話で概要を聞き取って下さっておかげで、とてもスムーズに内容に入れましたが、

事務所に来てもらってお話をするので、予想していた二倍くらいの厚みがある内容であったことが分かります。

司法書士にたどり着いていただくためのルートとして、電話相談の窓口は大事ですが、資料を見せてもらうことと、お顔を見てお話しすることが大事であることを、改めて感じました。

**2012. 02. 17**

## **そういえば・・・という存在**

今日は、遺言や遺言に付随する業務のご依頼です。

うちの事務所のこと、「前からよく知ってた」と言って下さったので、どこかでお仕事させてもらったかな・・・と一瞬考えたのですが、「前の道路を通っておられた」という意味でした。

好んで連絡を取りたいとは思われない職種だと思いますが、何か必要が生じた時にでも、「そういえば、あそこに司法書士事務所があったよな」と、思い出してもらえる存在でいければ、と思います。

2012. 02. 18

## 「2022－これから10年…」

「2022－これから10年、活躍できる人の条件」（神田昌典著）

『2016年に国家財政破綻。預金も年金も二束三文』

という著者の予測には、やっぱりそうか…という感じですが、「歴史の70年サイクル」から説明されると、その他の話も納得できます。

「何をいい加減なことを…」と受け止めるのも簡単ですが、この本に書いてあることを想定して、物事を考えておくに越したことはないような気がします（外れたら、それはそれでいいとして）。ただ、悲観論で脅して終わり、ではなくて、これからどんな社会になるのか、何を考えて生きていけばいいのか、というヒントを与えてくれているのが本題。この内容で「840円」は安いです。

ちなみに、話の流れからすると、時代が転換する時に職を失う人の中に、司法書士も含まれているのかも？という気がしました。「強制的リセット」に至るまで暴走を続ける、という話も理解できます。

2012. 02. 19

## 言う側と言われる側と

ゴルフを習い始めて1か月。

上達している実感はまだありませんが、教えられる側に立つことでの気付きがあります。

- ・ 問題点を指摘されても、自分の身体を思うように動かせない。

- ・一度言われたことも、また別のことを言われたら、忘れてしまう。

- ・指摘されたことを理解できていなくても、分かったような感じで返事をしてしまう。

↓

- ・いろんな情報が錯綜して、頭の中も身体の動きもバラバラになる。

そんなことは、教えられている側はお見通しなのでしょうけど、言った側は言ったことを覚えているもの。でも、言われた側は消化しきれていないのですね。

それは当然、言われる側にも問題があるわけですが、言った側が、「一度言ったことは、相手は分かっているはずだ」と考えるのも間違い、であることも分かります。

## 2012. 02. 20

### お顔を見て仕事をする

自己破産の新規相談です。

途中から事務を担当する司法書士にも同席してもらい、内容を把握してもらうことと、依頼者の方との顔合わせしてもらいます。

「書類作成」が直接の業務ですが、「そこ」だけではなくて、何か他にお手伝いをさせてもらえることはないか。どこかに問題があれば改善する余地はないものか…。

依頼者のお顔を見て仕事をしないと、書類だけに気を取られていると、本質は見えません。

その場で大体の家計表を書いてもらい、国保や税金の滞納額、その他の延滞額、同居の方の収入、負債額などを見ると、カードの債務が小さいから破産ができない、とは限らないです。

今までと違って、債務が小さい状態でも返済に行き詰る方が、増えてくるかもしれないです。

**2012. 02. 21**

## **任意売却のその後**

明らかなオーバーローン（住宅ローンの債務額＞不動産の時価）のケースがほとんどのため、

住宅ローンを払えなくなった方の売却に私が関与する時は、自己破産と並行して進めるのがほとんどですが、今日決済した案件では、これから方針の確定です。

不動産業者の人が書かれた本には、「任意売却で問題は解決する」といった書き方をされていることもありますが、目的は債務の整理であって、売却すること自体が目的にはなりません。

債権者の担当者の方から、「夫婦で持分を共有していた後、離婚された後に売却される案件」では、売主の中でも、元夫、元妻に別々の仲介業者が付くこともある、といった話をお聞きし、へえーという感じでした。

**2012. 02. 22**

## **銀行のカードローンも用心**

今日は、借り換えのご相談。

さまざまな立場の方のお知恵を借り、消去法で考える中で、問題点らしきものが見えてきました。

住宅ローンの審査を受けるに際し、銀行のカードローンを借りていたつもりが、信用情報にはその保証会社である消費者金融が載っていることが分かったり、

銀行に住所変更の手続きをしていなかったことで、知らないうちにカードローンの代位弁済がなされていて問題になったり、といったお話も聞きます。

債務整理をして「ブラック」になることは恐いことだと思いますが、

実は、借入をしたり、カードを作った段階でも、信用情報には何らかの情報が登録されているということと、その事実がデメリットを生む可能性があるということは、もっと知られてもいいことなのかもしれません。

**2012. 02. 23**

## **元の風景と新たな風景**

自己破産のご相談は、しばらくの間、かなりのペースダウンになっていた気がしますが、今月に入って7件目になります。

その中で、過払いが出そうな債権者は1社もなく、元々の債務整理の風景に戻った感じです。

その一方で、遺言書の作成、死後事務委任契約、任意後見契約、不動産のない遺産分割、分筆と並行した共有物分割、不動産売却のための相続登記に、会社設立、増資なども並行してお話をいただき、

スタッフには「何でも押し付けて悪いねー」と声を掛けていますが、いろんなお仕事があるのは私自身が望んでいることなので、涼しい顔してクリアしてくれるのもまた、私が期待していることです。

**2012. 02. 24**

## 景色を楽しむ余裕も

今日は遠方まで、遺言書作成のご相談に。

費用のご説明をする前に、「出張代も請求して下さいね」と言ってもらえるのは、ありがたいです。

天気が良くて、2月とは思えないほど気候も穏やか。

山の景色がきれいで、道中は快適なドライブでした。

さて、いろいろと山があった一週間も終わりました。

思わぬ症状が出て、月曜日に病院に向かった時には、「これも必要必然…」とは思えませんでした。一時的な問題で解決できそうな感じです。

先週、私をよく知る人からもらったアドバイスも効いています。

「人を変えようとしてはいけない」かもしれないけど、「変わることはある」のかもしれない。

**2012. 02. 25**

## 人を笑顔にできる仕事

今日は、はじめての温泉施設に。

入った瞬間に感じた「ん？タバコの臭い」という嫌な感じが、全て（分煙でないので当然）。いわゆる「スーパー銭湯」とは違ったことを知りました。

ホームページには「女子会」の宣伝もありますが、家族連れや、若い女性客の姿はなく、店側から考えると、「誰に来て欲しいのか」を絞ることは大事なのかな、と。

映画「洋菓子店コアンドル」も見ました。



「クリスマスに街頭で売るとようなケーキは、ウチでは売らない」と言う店のケーキは、繊細。

職人の意識として、「おいしいケーキを作る」では足りなくて、「ケーキを食べた人を笑顔にする」「自分の作ったケーキで人を幸せにする」というレベルにいないといけないんだ、ということを学べました。

**2012. 02. 26**

## **形式を整えるのは後**

事務所の中で議事録を作るのに、白紙の状態で「株主総会議事録」という文字から打ち込む人はいないでしょうけど、それは極端な例として、

気付かないうちに、似たようなことをしている可能性はあります。

「考える必要があること」と、「考えなくていいこと」を区別できていないと、本来、時間を使わないといけない部分に使えなくなるのですね。

形式を整えるのは、その後。

まずは「考える」「調べる」「組み立てる」「結論を見付けようとする」といった工程に力を使わないと、形ができていても、実は何もできていなかった、ということにもつながります。

**2012. 02. 27**

## **神田さんの講演会**

今日は、神田昌典さんの講演会。

「2022年－これから10年、活躍できる人の条件」 発刊記念の全国ツアーです。

私自身、お声を聞くのははじめてでしたが、神田さんの話に対する反応を見ると、皆さんファンなんだろうなあ、と。

「質問は？」と問われ、手を上げられる人に学生さんが続いたのは意外ですが、「会社がなくなる」なんて言われると、これから就職を考える人が不安になるのは当然かもしれません。

一番印象的だったのは、これから「物々交換」の社会が始まるんじゃないか、という話。

対価を金銭でいただくとしても、物でいただくとしても、それだけの価値があるものを提供しなければならないのは、会社員でも事業者でも同じです。

**2012. 02. 28**

## **プレッシャーの重み**

一昨日の「ソロモン流」は、カーヴィーダンスの榎木裕実さん。我が家には、榎木さんの「カーヴィーダンスで即やせる！」を含め、その手の本がたくさん転がっていますが、「買うだけ」で効果が出ることはなさそうです。

番組の中で、後輩トレーナーの方が「榎木さん以外はダメだと言われたくない」と言われた時、

「プレッシャーは感じて仕事をしていかないと。あたしだって、どれくらいのプレッシャーで…」と言われたのは印象的。

立場によって、背負っているものの違い。

それは目には見えないもので、言葉で伝えることもできないものだと思いますが、背負っているものの重さによって、できること、できないことが違ってくるように思います。

**2012. 02. 29**

## **話の引き出し**

自己破産のご相談のはずが、ご家族についてのお話がメインになりました。

相手の側に立てばどうか、見方を変えるとどうか、後のことを考えるとどうか、など、法律のことに限らず、話の引き出し (=求められた時に出せるもの) はたくさん持っているよう、心掛けていきたいです。

問題の解決のため、もしくは問題を防ぐため、法律が味方になってくれることもあります。

気持ちの整理、感情面の問題もクリアできないと、本当の意味での「解決」にならないこともあります。

「考え方」の部分でも、何らかのお手伝いができる事務所であれば、と思います。

**2012. 03. 01**

## **職人のこだわり**

今週の「プロフェッショナル 仕事の流儀」は、パン職人の成瀬正さん。

タイトルは、「不満足こそが、極上を生む」。

職人としての細かいこだわり、日々より良いものを産み出そうとされている姿勢など、番組を見ている間ずっと、素晴らしいなあ…という目で見ていました。

スタッフの方の仕事ぶりに、「ミスを見逃していた」「これ相当ダメだね」という言葉が出たシーンがありました。

高い意識を持っていないと、ミスだと解釈できないレベルのものかもしれません（少なくとも、私がお客として行っても気付かないでしょう）。

職人として大事な能力として、「仕事のどこを観察するか」を言われていました。

新人さんに対して、周りのことを見てないじゃないかと怒られていましたね。

直接言われることに限らず、目で見て、耳で聞いて学べることは、たくさんあるものだと思います。

**2012. 03. 02**

## **準備をしておくこと**

お昼休みしか時間が取れないとのことで、初対面の方と、昼食を食べながら打ち合わせ。違和感もなく、時間を有効に使えたような気がします。

さて、4か月くらい使い、日常業務の間に、少しずつ準備をしていた業務。

別の依頼者から、いざ「急ぎ」と言われ、一日で形にすることができました。

「やっといてよかったですね」という担当スタッフの声が、うれしかったです。

「仕事は、準備のできているところにやって来る」（準備のできていないところには来ない）は、私の勝手な思い込みのひとつでもあります。

2012. 03. 03

## ビン入りのマヨネーズ

キューピーの優待で届いたビン入りのマヨネーズ。

面白いですが、使い勝手を考えると微妙…です。

今日は、新規のご相談を済ませて、スーパー銭湯に。

若いお相撲さんが数人いたのに驚きましたが、宿舎が近くなのでしょうか。

湯船が違う意味でいい匂いでした。

今週は、珍しく未読の新聞も溜まっていましたが、やっと解消。

事務所にも「作業」が溜っていますが、体調を戻すため、明日はお休みの予定です。



2012. 03. 04

## 有馬日帰りの旅

肩や首が痛く、身体の調子が良くないので、スーパー銭湯に通う頻度が上がっていますが、今日は有馬温泉まで足を伸ばしてみました。

有馬グランドホテル、日帰りの旅です。

地下の大浴場、水着で入れるアクアテラス、リラクゼーション施設が新しくできてから初訪問。



今回は、昼食と新しい大浴場のみ利用でしたが、施設の予想以上の広さと金泉の気持ち良さは格別でした。

**2012. 03. 05**

## **たばこと家計の関係**

読売新聞の「人生案内」というコーナーで、匿名の相談に対し、医師、作家、著名人等が回答するという記事があるのですが、先週土曜日の相談は、「やめたいとは思っている」と言いながら、「たばこを吸う夫が許せない（でも、優しく真面目な夫である）」という奥さんの悩み。

それに対して精神科医が、『あなたの言うように、思うだけじゃ変わらない。キツイ誰かが、思いっきりしつこく言わねば禁煙の出発すらできません』と回答しています。

でも、無理にさせるのではなくて、「なぜ？」という部分を一緒に考えてもらって、禁煙外来への通院に付き合っあける、というのが正解なんじゃないかな・・・という気がします。

「生活が苦しい」と言われる状況の中でも、お酒、たばこで大きな支出をされていることは少なくありません。その度に、「たばこを止めれない」ことが、深刻な問題であることを感じます。

**2012. 03. 06**

## **行政書士としての相続**

今日は、行政書士会まで、戸籍謄本等の職務上請求書を購入に。出向いたのは、行政書士会の事務所が移転した後初めてですが、とてもきれいなビルでした。

不動産登記ありの相続は司法書士、

登記なしの相続（遺産分割協議書の作成）は行政書士の請求書を使っていますが、ここ2年で、それまでなかった「登記を伴わない相続」のご依頼も増えています。

さて、ビルの外観写真も入れて、ブログのタイトルバナーを作ってみました。

再び、インターネット経由のご相談が続いていますので、事務所のイメージが少しでも伝わりやすくなるように、と思います。

**2012. 03. 07**

### **「考え抜いたもの以外・・・」**

先週のカンブリア宮殿は、半導体製造装置のメーカー、ディスコの関家一馬社長。

半導体の技術的な話は分かりませんでした。社長室の扉にある「考え抜いたもの以外 持込禁止」の貼り紙が映された後の、経営や社内環境の話は興味深かったです。

「考え抜いたもの以外持込禁止」は、ウチでも使わせてもらいたい、と思いましたが、

社長がそのような姿勢を示す前に、社員さん自身が考えないといけな環境であったり、働きやすい環境を整えられていることが分かりました。

「やりたい人」と聞かれ、自分が担当したい仕事を手を上げて取りにいたり、社内にフィットネスジム、プール、マッサージルームがあって、勤務時間中に使っていていいとか、

後者は私の事務所には真似できないことですが、前者については、「誰がどれだけの仕事を受け持っているか」を確認できるようにし、「やってくれている人」が見えるようにしました。

**2012. 03. 08**

## **最後は「自分で決める」**

初回のご相談。

ひと通りお話しが終わった後、「あとは、決めるのは私ですね」とご相談者。

頼ってもらえたとしたら、それは大変ありがたいことなのですが、逐一「どうしたらいいの？」と判断を求められ、困ることもあります。

それよりも、「自分で決める」という部分から、できるだけ離れてもらわないように。決めてもらうための情報、材料を提供するのが私の役割です。

私にも身近に信頼できるメンターがいますし、好きな著者も複数いますが、

「特定」の考えを無条件に受け入れるのではなくて、いろんな考えを見聞きしながら、最後は「自分が決める」だと思っています。

**2012. 03. 09**

## **親子でも他人のお金**

今日は、任意後見契約のための打ち合わせ。

親族が後見人になられる場合、帳面や日誌の必要性をお話ししますが、「帳面なんて付けたことないし・・・」といった反応があることも、少なくありません。

たとえ親子であっても、他人のお金。

そんな認識は、なかなか持ちづらいものかもしれませんが、「横領」と問題になっている中には、「深く考えず、という例が含ま



れていると思いますよ」(だから余計にきっちりしないと)というお話をしています。

私が見え人になっている方の、確定申告の準備もしています。本当は、自分の分と一緒に、税理士さんをお願いしたいのですが…。

医療費控除もあって、10万円以上の還付になるので、大事な役割です。

**2012. 03. 10**

## **試されている行動**

言い訳も含めて、今の事務所の状況です。

「1年間は続ける」と宣言したfacebookページへの書き込みは、すっかりペースダウン。私を書かないので、「どうなったんの??」と他のメンバーにも言えません。

マイベストプロ大阪のコラム更新も、2月20日からストップ。ホームページからのアクセスも含めてですが、いろいろなところからお声を掛けていただき、事務所の中はやや大変なことに。事務仕事が増えつたかなくなっています。

仕事が増えた時、何を考えて、どんな行動をするか。

逆に、仕事が増えて対応に追われた時に、何を考えて、どんな行動をするか。

どっちの状況に置かれても、「どんな行動を?」という部分で試されていることに、変わりはないそうです。

2012. 03. 11

## 3月の雪景色

三重の、湯の山温泉に行ってきました。

21～22年前、一家が大変だった時に、家族で出掛けた場所。「当時はどこに泊まったのか・・・」と探していましたが、ロープウェイ乗り場以外の記憶は戻りません。

ホームページを見て、前々から目をつけていたお宿。

食事は、部屋に備え付けのダイニングテーブルで。

廃業してる宿も目に留まる中、建物が古くても、「リニューアルできるかどうか」というのは、大きな分かれ目のような気がします。

レトロな雰囲気漂う、カップ麺の自動販売機。

隣には、給湯用のポット。

ダイヤル式の公衆電話と、100円玉の両替機の姿もありましたが、中身がしっかりされていたので、いい意味でアクセントが利いてました。

ロープウェイで御在所岳にのぼると、きれいな雪景色が残ってました。スキーをしない私には、「こんな風景はじめて！」という感激がありました。



**2012. 03. 12**

## **「クレサラ」 → 「借金問題」**

「クレジットサラ金・ホットライン」の名称が「借金問題電話相談」になったと、司法書士会からFAXが来ていました。

私が債務整理に取り組み始めた（平成14年）頃は、「クレサラ」という言葉がよく使われていて、

今でもウチの事務所の予定表では、債務整理の初回相談の欄に、「クレ初」という略号を使っていますが、あまり耳にしなくなった言葉かもしれません。

クレジットカードやサラ金（消費者金融）からの借入の問題は、「借金問題の一部ということ」なのだろうと理解しています。

さて、今日は11時半から売買の決済。

その足で、完了済みの識別情報をお届けするだけ、のつもりが2時間も話し込んでしまい、事務所に戻ったのは16時過ぎ。

また事務仕事を溜めてしまいましたが、同年代の社長さんとの雑談には、金額に見積もれない価値があります。

**2012. 03. 13**

## **喜んでお受けします**

朝出勤すると、いつも何気なくパソコンを触り始めますが、昨日も今日も、大量の戸籍のチェックがあったので、パソコンデータのバックアップを取ることに。

バックアップを取っている30分間、パソコンは使えませんが、いつも「何気なく」過ぎていく時間を、有効に使えた気がします。

さて、今日は、公証人に出張をお願いし、公正証書遺言の作成に立会いです。

捺印とご精算が終わった後、「遠くまですみません」という私の言葉に、「いえいえ、先生は塚なのでこっちの案件はないかもしれないけど、また利用して下さい」と。

お仕事をお願いしたり、ご紹介したりする際、「実はご迷惑ではないか・・・」と気になることもありますが、私自身、依頼者の方に「よかったら頼んでください」「喜んでさせてもらいます」という姿勢をはっきり示すことは、とても大事なことのだと感じます。

**2012. 03. 14**

## 仁徳天皇陵は近く

いい天気だったので、一駅分、仁徳天皇陵の横を歩いて事務所に戻りました。横から見る限り、その大きさを実感できません。

事務所がある「向陵中町」という地名も、仁徳天皇陵が関係し

ているものと思いますが、仁徳天皇陵は、事務所から歩いて10分かからない場所にあります。

さて、今日は、役所の相談員の担当でした。

待ち時間が長くて、3時間のうち、私の担当は30分だけ。

「時間が過ぎるのを待つだけ」の苦痛を感じると、「やることがたくさんある」ことが、幸せなことであると分かります。



役所内、歩いたのはごく限られた範囲だけでしたが、職員の方の手が、止まったままのように見える部署もありました。それが「普通」になる前に、手を打たないといけないと思います。

**2012. 03. 15**

## **フルネームで登録です**

私の事務所では、圧倒的に、個人の方の案件が多いです。債務整理を除くと、「圧倒的に」はなくなりますが、それでも多いです。

同時並行している業務の中には、同姓の方も複数含まれていて、スタッフからは「よく覚えてられますね」と言われますが、お顔、仕事内容と共に、苗字だけでなく、フルネームで結びつくようになっていきます。何よりも、「お顔を見る」ことが大事かもしれないですね。

電話の対応で、スタッフが時々「フルネームで教えてください」「下のお名前も…」と言っているのは、そんな事情があります。

**2012. 03. 16**

## **「安心」のお手伝い**

今日は、印鑑をいただきに訪問し、共有物分割登記の申請です。共有だった土地を、2筆に分筆し、分筆後の土地をそれぞれの単独所有にするための登記。

元々の持分に相当する部分と、増えた分に相当する部分の税率が違うので、登録免許税の計算が大変です。

公証役場で、公正証書遺言作成と、死後事務委任契約の立会いもありました。

死後事務委任契約は、公証人から「遺言書に盛り込んでもいいのではないかと提案がありましたが、「きっちりしておくほうが安心」というのが依頼者の意向。

1対3（各自権限あり）の契約でしたが、公証人費用は1件分です。

そんなことも含め、遠方の取引を司法書士スタッフに引き受けてもらえたので、一日の時間を有効に使えました。

**2012. 03. 17**

## **女性ならではの気配り**

今日は土曜日ですが、家計の新規相談です。

「何とかしなければならぬ」

「でも債務整理はしたくない」

と思っている方はたくさんいらっしゃると思いますが、法的な整理をするしなやかに関わらず、借金の有無に関わらず、家計のことを相談してもらえたいです。

プライベートでは、インプラントの手術をしました。

歯を削られるのはともかく、「骨」を削ると言われると、平常心でいることはできません。しかし、麻酔をかけながら、マメに話し掛けてくれる女性医師の存在に救われたような気がします。

女性ならではの気配り心配りは、ウチの女性スタッフにも期待していることです。

2012. 03. 18

## 記事数 2 5 0 0 件達成

最近、「ソロモン流」や「プロフェッショナル」で、パン職人の話が続いていたので、しばらく眠っていたホームベーカリーができました。

「混ぜるだけ」でも、できたてホクホクのパンは最高。



レポートリーが増えることを、期待したいと思います。

さて、表からは確認できませんが、今日の記事数が2, 500件になりました。

「書けることがない…」と、ネタ探しに困っていた時期もありますが、最近はストックがないものの、わりとすんなりと書けています。いつからか、土日も休まなく（休めなく）になりました。

次は3, 000件を目指して、毎日コツコツといきたいと思いません。

2012. 03. 19

## 日々のお会いに感謝

今日は、少し前なら、全く考えることができなかつた方面から、お声を掛けていただきました。

あの時、あの方と出会わなかつたら、今の自分はいない。

あの時、私があの方の行動をしなかつたら…、ということは本当にたくさんあって、偶然の積み重ね。

ご縁というのは、本当に不思議なことだと思います。  
一方では、言葉は悪いですが、下心を持つての行動。  
「この人」についていったら、「この組織」に近付いていけば、「あわよくば」自分がいい思いをできるんじゃないか・・といった計算を持つて行動すると、いい結果にはならないような気がします。

**2012. 03. 20**

## **機械化できる仕事と**

近所のスーパーでも設置されたセルフレジ。

並んでいる人も少なく、人がいるレジに並んでいるうちに、会計が終わってしまうような感じ  
です。

見張り役（使い方を教える役）

の職員さんはいますが、店側にとっては人件費削減に。逆に、従業員の側から見ると、仕事がなくなっていく方向に進んでいくの  
かもしれません。

司法書士の仕事も、今後またどのように変わっていくのか分かり  
ませんが、機械化できる部分、できない部分があるのは同じだと思  
います。

その中で、自分がどの立ち位置にいるのか。

自分の事務所がどうなのか、その中でも自分が担当している仕事  
はどうなのか、日頃から考えておくのも必要なことのように思  
います。





**2012. 03. 21**

## **期限は自分で切る**

朝一番から、新規相談のお電話。

休み明けのゆったりした精神状態から一転、忙しい一日が始まります。

3組の来客の間に、絶対に今日しなければと決めていた事務作業。

自分の中で期限が切られていなければ、できるはずのこともできなくなります。

今まで私が独占していたお客様とのメールは、ごく個人的なものを除き、事務所の共用アドレスを使うようになりました。

私一人では対処できなくなってきたのと、みんなに全体の動きを把握してもらいたいことからですが、

「そんなにメールが動いていたのか・・・」と思われたとすると、もっと早くに変えることだったと思います。

**2012. 03. 22**

## **望まれていることは何か？**

今日は、同職から、ちょっとした作業の依頼です。

私がきちんと確認していなかったため、事務所で「どうしようか??」という部分が生じたのですが、どちらに解釈しても問題がないような方法をとれました。

今回は、「司法書士から司法書士」への依頼ですが、対お客様との関係では、「お客様が何を望んでいるか」。会社内では、「上司が何を望んでいるか」を考えて行動することが大事なものは、全く同じだと思います。

さて、4月1日以降、所有権移転（土地の売買）の登録免許税の税率が、1.3%から1.5%に上がります。

見積書にもその旨記載するようにしていますが、一方、同時に評価替えになりますので、評価が大幅に下がれば、4月に遅らせることが有利になることがあるのかも？とも考えたのですが、そんな曖昧な話ではできません。

今回の事例では、逆算したところ、「評価額が200万円下がったとしても、今年度中に登記するほうが有利」であることが分かりましたので、ご参考までに書き添えて、見積書をお出ししました。

## 2012. 03. 23

### 「売り込み」は苦手

郵便局の配達担当の方は、日によって違う方が来られますが、毎日のように、「レターパックまだ大丈夫ですか？」の問い掛け。「買います」と言うと、「よかった・・・これで会社に戻れます」と、冗談であろうひと言。こないだは、「切手は足りていますか」と聞かれたし、大変だなあ・・・と思います。

「売り込み」は、私が最も苦手なことのひとつです。

さて、今日は、自己破産の申立を1件。

他の事務所で辞任された案件で、ある債権者からは「どうせ申立できないんだろ？」と言われてたりしていましたが、無事申立までたどり着きました。

辞任に至る経緯は様々で、私の事務所でもあることなのですが、依頼者に非がある場合でも、それでも我々に責任がないことはない、のだと思います。

2012. 03. 24

## 修行は終わらない

「子どもの心に風邪をひかせない子育て」(石田千恵子著)

「石田さん子の大家族」は、以前、よくテレビ見ていました。

豪快なお母さん、家の中はハチャメチャ(当たり前)、というイメージがありますが、大きくなった子どもさんが「いい顔をしてる家族」というのも、私の心に残っていることです。

「心に風邪をひかせない」というのは、漠然とした表現のようですが、本全体からその意味が十分伝わってきました。

私自身、「風邪を引いていた」時期もあった気がします、心配や迷惑をたくさん掛けていたなど、今になって分かるものです。

経営者も、最初から優れた経営者だった人などいなくて、日々いろんなことを考え、学びながら成長していくもの。いつまでも修行だと思えます。

9人の子どもを育てた著者も「私は、まだまだ修行中です」と書かれています、共通する部分があるのではないかと、思いません。

2012. 03. 25

## 「強い人は能力がない」か…

「私が弁護士になるまで」(菊間千乃著)

元フジテレビアナウンサーである菊間さんが、ロースクールに通い始め、仕事との両立を模索しながらも退社し、弁護士になるまでの道。

どんな方法で、何を考えて勉強をしていたか、細かく綴られていて、その文章がまた分かりやすく、気持ちが伝わりやすくて。合格できた場面では、「よかったな…」と涙が出てきました。

司法書士の受験勉強をしていた時の自分と、かぶったためだと思えます。

書ききれないくらい思うことがありましたが、司法修習の授業で教官に言われた、という話から引用します。

「優しいだけでは実務で通用しない。強い人はたくさんいるけれど、そういう人は大抵能力がない。能力がある人もたくさんいるけれど、そういう人で優しい人は少ない。すべてを兼ね備えた、中でも優しさを忘れない法曹でありたいし、皆にもそうなってほしいと話してくださった。」（以上本書から引用です）

「強い人は、大抵能力がない」か…。

私は「法曹」ではありませんが、そのバランスはとっても大事で、難しい部分だと思えます。心に留めておきたい話です。

**2012. 03. 26**

## **本人限定受取郵便**

業界外の方には関係ない話ですが、

司法書士電子証明書を、本人限定受取郵便（基本型）で受け取りました。ちょこちょこシステムを変えられるのは面倒なのですが、ついていくしかありません。

今回送られてきた「基本形」の本人限定受取郵便は、自宅での受け取りは不可。

窓口まで受け取りに行かないといけないのですが、近くの郵便局に転送してもらった後、うっかり保管期限を過ぎてしまうところでした。

依頼者の方に送った郵便物を受け取ってもらえず、ヒヤヒヤすることもあります。自分にとっての優先度が低いと、そんなことになります。

ちなみに、不動産登記の「事前通知」に使われる本人限定郵便は「特例型」なので、自宅への郵送も希望できます。

ご本人確認のため、事務所から本人限定受取郵便を発送する場合も、「特例型」にしています。

**2012. 03. 27**

## **求められる様々な力**

昨日今日と、午前中は静かでしたが、午後から話がよく動きます。

みんな、複数の作業を同時並行で抱えています。1本の電話のほか、何かきっかけで「今」しないといけないことが変わります。

「一度に言われても無理です！」と思われてることも多々あるでしょうけど、お客様から求められていることであれば、状況判断、機転を利かしていかないとやっていけません。

公証人の先生と、契約書の条文の解釈で食い違いが生じたので、急な調べ事もありました。

どこかに書いてあったはずだけど、どの本だか分からない・・・。

私よりも先に、スタッフが答えを見つけてくれましたが、パソコンならしてくれる「検索」する力は、事前の準備・整理であったり、集中力であったりもします。

**2012. 03. 28**

## 人が入るとややこしい

みんな出掛けていない中、電話が鳴り、来客があり、何やってるか分からなくなります。

広告の勧誘も手が込んできて、「相続のお客様を紹介したい」とかいう話から始まったりするようです。もう分かっているので、「じゃあ、その方から直接電話してもらって下さい」と言うのですが。

基本的に、間に入る人はいないか、少ないほうがいいです。

F A Xでのセミナーや教材の勧誘も頻繁に届くので、「またか…」と放置していたら、「新築建物の認定基準表のF A X見た?!」と同職からの電話。

4月1日以降の、土地の登録免許税の変化、評価替えに気を取られていると、新築建物で実質増税。保存登記を予定のお客様には、見積書の出し直しです。

**2012. 03. 29**

## 年度末も普段どおり

「年度末なので、忙し過ぎる」と書いていたい気もしますし、「うちにはあまり関係がない」と書いていたい気もします。今年は、後者です。

普段どおりに相続登記が完了し、遺産分割についての打ち合わせがあり、遅くまで個人再生の相談に対応していました。

普段と違うこととしては、昨日今日と、住居表示からの謄本取りや、地番を指定されての図面取りがありました。

司法書士事務所としてはごく基本の工程。

しかし、突発的な依頼にうまく対応できず、スタッフの退社時間もオーバーさせてしまったのは、情報をきちんともらっていなかった私のミスでもあります。

**2012. 03. 30**

## **この人の言うことなら**

今日は、公証役場で、任意後見契約の立会いです。

自宅までお迎えに行き、終了後はお送りして、帰ってきました。

公証人から、「親子なら、ライフプランの条項はいらないのでは？」と、当初は削られていましたが、聞いておかないと分からないことは、実の親子でも多々あること。それを形に残しておくのも、意味があることだと思いました。

帰り道、「ガソリンだけ」のつもりが、「洗車もどうですか？」と言われたので、じゃあついでに。

待合室にいと、「オイル交換は最近されました？」と、汚れているのであろうオイルを見せに来る店員さん。その後は、「バッテリーはいつ交換されました？」。

うまく商売に乗せられているのか、本当に親切で言われているのか、素人にはその判断ができません。だから、「この人の言うことなら」と、まずは信用してもらうことが大前提なのだろうと思います。

2012. 03. 31

## ツイッターから「刑務所なう。」

堀江貴文著「刑務所なう。」。

今まで、「ツイッターでつぶやきなんて、くだらない…」という目で見ていましたが、著名人をフォローしておく、その人の発言がどんどん自分の画面に飛んでくる、という当たり前の機能に、今頃になって知りました。



ついでのので、事務所から、当日の予定を伝えるのに使い始めています。

「刑務所なう」もツイッターで話題になっていて知ったのですが、刑務所の中からもこんな形で情報発信できるとは・・・。

日記形式になっている刑務所内での生活の話には、「へえ…」という部分がたくさん。真面目に書かれている時事ネタからは、「さすが！」という面が伝わってきます。

「何を伝えられるか」は、その人の能力にもよるでしょうけど、自分にとっては当たり前のことも、それを他人に伝えようとするのは、意味があることなのだと思います。

2012. 04. 01

## 「A群選手」と「B群選手」

「巨魁」（清武英利著）を読みました。

著者は、元読売巨人軍球団代表。

巨魁とは、渡邊恒雄氏のことを指されています。



「巨人軍は非情か」に続き、球界や球団を良くしようと、どれだけ力を尽くしてこられたかが伝わる文面がほとんどで、告発本、暴露本みたいな感じで表に出るのは、とても残念なことだと思います。

それはそれとして、新人選手の発掘、養成の難しさの話には、感じるものがありました。

エリート選手である「A群」以外にも目を向け、「B群」からも発掘しようされた話を読んで、私は間違いなくB群の人間だったろうと思います。

実際、面接まで行き着けず、履歴書を送った段階でたくさん落ちていました。

それでも今があるのは、実務経験もなく、試験にも合格していなかった私を採用してくれた事務所の先生のおかげ。若い人に対し、同じことが自分にできるかと問われると、全く自信がありません。

**2012. 04. 02**

## **仕事のできる人は歩くのが速い**

今日から新年度。

電車や大きな駅では、新しいスーツに身を包んだ方を、たくさん見かけました。

スーツに糸が付いたままだよー、そんなにゆっくり歩いて大丈夫か、茶髪（男性）のまま大丈夫か、みたいなことを感じました。

「仕事のできる人は、歩くのが速い」

これは、私の中にある仮説のひとつです。

さて、今日は、信託銀行で株式の相続手続きに。

事前に戸籍のチェックは済ませてもらってましたので、「すぐに終わるだろう」と思っていたのですが、「改めて戸籍の確認を・・・」ということで、1時間半待つことに。

評価替えにより、土地の固定資産税評価額がどうなるか。

気になっていましたが、今日取り寄せた堺の物件の評価をざっと見たところ、「2%減」といった感じのようです。

## 2012. 04. 03

### 確認済の部分は見ない

今日は、3つの金融機関で、預金の解約手続きをしてきました。立場は、「相続人代表の成年後見人」です。

#### ・ A 銀行

戸籍謄本は、全て事前にチェック済。

新たに持参した相続届と、印鑑証明書のみコピー。入金は1週間程度で。

#### ・ B 銀行

窓口で戸籍等、関係書類一式をコピー。

センターで書類の確認をされた後、入金は1週間程度で。

#### ・ C 銀行

窓口で戸籍等、関係書類一式をコピー（残高証明請求時にも提出済）。

20分程待って、その場で入金。

昨日の話のように、「一度見た戸籍を、また一から見直す」のは効率が悪いので、私が確認する立場であれば、「確認済みの書類は、もう見ない」A銀行の方法を採用したいところ。

でも、気になってまた見てしまうのは、私の事務所の日常でもあります。

**2012. 04. 04**

## **待っていないで動かす**

明日申請の設立登記の申請書類を見ると、登録免許税額が146,000円になっていました。

4月以降、オンライン減税が最高3,000円になったので、147,000円が正解ですが、私が事前に出していた見積書も、146,000円。ホームページの原稿を書き換えるのも、忘れてますね…。

しかし、オンラインを普及させるのであれば、ずっと5,000円の減税でもよかったんじゃないかと思います。

さて、2月から3月半ばにかけて、ずっと追われ続けていましたが、今は小康状態。

そんな中でも、「返事待ち」「書類待ち」がたくさんあるので、自分たちが動かしていける仕事は、動かしていくことにしましょう。

**2012. 04. 05**

## **会社設立は大安に？**

今日は4月に入ってから初めての「大安」ということで、早い段階から、日付指定の会社設立が入っていました。

「登記申請日」が「会社設立の日」になりますので、

念のため、「気にされますか」とご確認するようにしていますが、六曜を「全く気にしない」と言われることもあれば、「そう言われてみると大安で」という方もいらっしゃいます。

私も気にしないほうですが、自分の会社を設立した時（7年半前）は？と思って調べたところ、大安の日でした。定款認証の日まで大安・・・。

言ってることとやってることが違いますが、時が過ぎれば、「こだわるべきことは、他にたくさんある」ということも言えそうです。

**2012. 04. 06**

### **過程は表から見えない**

ある時、同業の先生と、「〇〇先生は、銀行仕事をたくさん抱えていてすごい」という話をしていたら、「それだけ大変なことをしておられる」というのが結論に。

でも、その「大変なこと」は目に見えないし、人には言わないし、華やかな部分しか目に入らないんですね・・・。

私も他士業の先生から、「司法書士さんは、勝手に仕事がきていいですね」と言われたことがあります。おそらく勝手に仕事に来ることはないはず・・・です。

で、気付いたことは、結果は表から見えても、その過程は見えないという当たり前のこと。

結果を出そうと思ったら、それなりのことをしないと行けないし、結果だけ見てマネしたいと思っても無理、ということなのだと思えます。

2012. 04. 07

## ゴールと通過点

「残念な人のお金の習慣」(山崎将志著)は、「残念な人」シリーズの本ですが、著者が、全国大会の常連校「杉並高校の吹奏楽部のパフォーマンスに驚いた」という話から。

その演奏がすごいのは、「ミスせず譜面どおり演奏すること」ことがゴールではなく、「パフォーマンスによって観客を楽しませる」ことがゴールだからではないか。

だから、「完璧な演奏は、ゴールではなく通過点になる」というのが著者の視点。

これは、私の事務所でも当てはまる話で、

「ミスなく書類を作成しないとイケない」としても、「お客様に喜んでもらう」「困っている方のお役に立つ」ことがゴールだと考えたら、

「書類をきっちり作る」というのは通過点に過ぎないことになります。

だから、「どうやって書類を作るか」というところで思考が止まってしまうたら、いい仕事をするにはできないし、そこで満足してもいけない、ということになりそうです。

**2012. 04. 08**

## **温泉と野球と本**

武田尾温泉（兵庫県）に行ってきました。

「紅葉館別庭 あざれ」のデイユースプランです。

宝塚から山道に入り、「まさかこんな道とは…」という細い道を抜けていきます。対向車もほとんどなし。



その分、山にすっぽりと囲まれた環境は、非日常そのものです。温泉に入り、昼寝をして、また温泉に入って、野球中継を見ながら本を読む…。

私にとっては、最高の休日の過ごし方です。

**2012. 04. 09**

## **プロの価値はどこに？**

今日は、宅建免許の申請のことで、お客様を行政書士さんにご紹介。

私も行政書士登録をしているので、お仕事をお受けする「資格」はあるのですが、

次々と論点を潰しながら説明されているのを聞いていると、いろんな事例を経験していないと分からないことばかり。お任せして正解だったと感じました。

お客様も事前に調べられていて、ご自分でも手続することは可能な中、「プロ」としての価値は何なのかとなると、

ただ「代行してやります」では全然足りない、ということになるのだと思います。

そんなことは当たり前のことなのかもしれませんが、これがプロの仕事、という姿を見せてもらえて、刺激になりました。結論として、「資格があるということと、プロとして仕事ができるということは違う」です。

**2012. 04. 10**

## **タイトルにつられてしまう**

朝刊に、雑誌「プレジデント」の広告。

「仕事リッチが読む本 バカを作る本」というタイトルにつられて、買ってしまいました。

年収が「500万円」「800万円」「1500万円」の層に分けて、「役立った本」等のランキングが出ていますが、1位の本でも票数が1ケタだったりするので、あまり信用できない気がします。

年収1500万円のところに「プレジデント」が入っているのもどうなのか・・・。

しかし、成毛眞さんと土井英司さんによる、対談形式の解説には救われます。

「1500万円と800万円以下は、仕組みをつくれるかつかれないかの違い」等、土井さんが年収で区別して考えようとするのに対し、「1500万円のラインナップだって弱い」「ここに出てくる人、全部面白くない」と引いた目で見ている成毛さんが印象的。

「本を読めば出世できるのか」「図書館は下流への道」等、なるほど・・・という部分もあって、いずれにしても、読書と収入が何ら

かの形で結びついていることは、間違いなことなのだと思います。

**2012. 04. 11**

## **過払金で納付された法人税**

今朝の日経新聞、『旧武富士が還付請求』『超過利息の法人税2374億円』『国を提訴』の記事から。

「経営破綻した消費者金融大手の旧武富士（現・更生会社TFK）」は10日、国に対し、過去に納めた法人税の還付を求める訴訟を東京地裁に起こしたと発表した。請求額は2374億円。少し前にニュースになってたので、その後どうなったのかな…と気になっていた件です。

「国を提訴」と聞くと他人事のような感じもしますが、国が負けると、結局のところ、国民が納める税金から返還することになるわけで、「関係ない」では済まないでしょう。

今回は、武富士の「債権者に弁済するため」という名目もあるので、世論はどう動くのか……。

ちなみに、過払い金から多額の法人税が納められていて、回りまわって国全体が恩恵を受けていた、という面にも、気付いておかないといけないと思います。

**2012. 04. 12**

## **季節と社会・仕事の動き**

自転車で走っていると、汗が出てくる春の日差し。

事務所では、一昨日まで暖房を入れてましたが、今日は暑くて、2つの換気扇を回しました。



「季節」が移っていくことは分かっているので、寒い日が続いてもいつかは春が来ます。でも、「社会の変化」「仕事の動き」については分かりません。

それが分かったら、どれだけ楽だろうかと思えますけど。

さて、今日は、管財事件になっている破産事件の、債権者集会に同行です。

自由財産拡張の申立をするため、あえて管財事件への移行を希望された案件ですが、次回期日は9月に。申立から1年がかりになりますが、その間、日々家計簿を付けてもらって、毎月見させてもらっています。

**2012. 04. 13**

## **「距離」よりも「時間」が基準**

今日は、大阪市内の用事を済ませ、そのまま貝塚市に移動。

貝塚（南海本線）に行くには、事務所から直接南に向かうより、一旦北に向かい、大阪市内を経由して行くほうが、早く着けたりします。

「近い」か「遠い」かは、「距離」よりも移動に要する「時間」が基準。

なので、仕事するにしても、生活するにしても、「急行」や「快速」が停まる駅に身を置くメリットは大きいです。なおかつ「駅前」というのが私の価値観です。

法務局は、「なんで？」というくらい不便な場所にあることが多かったのですが、そんな中、登記申請や謄本取りに動き回っていた時のことを思うと、随分と時間に対する感覚が変わっていると思います。

2012. 04. 14

## 結果には原因がある

「幸せのタネをまくと、幸せの花が咲く」（岡本一志著）

日々の行いによって、自分の運命をいように変えていくことができる（その逆もしかり）という意味。



『どんな結果にも必ず原因があ

る。原因なしに起きる結果は一つもない』

仏教を説いたお釈迦さまの教えであると本書に書かれていますが、こういう考え方、私はとても好きです。でも、「自業自得」なんていう言葉、しばらく忘れていましたね。

「気配り」「話を聞くこと」「相手の気持ちを受け止めること」の大切さ。

「腹を立てるのは、相手が間違っただけをしたからでなく、自分の欲求が満たされないから」など、

なるほどなぁと思うこと、仕事の中でも、日々の気持ちの持ち方でも大事だと思えることが、たくさん書かれていました。定期的に読み返したい本です。

2012. 04. 15

## 「ない」ところから創る

今週の「プロフェッショナル仕事の流儀」は、日本料理人山本征治さん。

私はこの番組に限らず、料理人の方が、形が「ない」ところから「料理を創り出そうとする姿」を見るのが好きです。その背景に、「お客さんに喜んでもらおう」という姿勢が見えるのでなおさら。食材は同じでも、出来上がる商品は人によって違うんだ、という当たり前のことも、今回の番組で感じたことです。

山本さんの言葉から印象に残ったフレーズ。

「何が負けているか。技術じゃないんですよ、意識ですよ。今を生きる者として、もっとできるという気持ち、どのくらいのレベルで持てるかという意識ですよ。」

「意識」が重要なのは、どんな職業でも同じことなのだと思います。

**2012. 04. 16**

## **預ける時と借りの時の金利**

今日は、後見人として銀行口座を開設してきました。

最近、預金金利の利率を気にする機会がありませんでしたが、「普通預金も定期預金も大して利率は変わらない」が当てはまらない商品はないか？という目で見えるようになっていきます。

ご本人の過去の定期預金のページを見ると、6%台の利率が印字されていて、今ではありえない・・・と思いますが、私の親が組んだ住宅ローンの金利は7%台でしたから、預金金利だけが高かったわけではないです。

ところで、「残念な人のお金の習慣」(山崎将志著)には、「今の金利が安い理由は、日本が低成長だからである。だから、株価も低成長だと考えるのがまっとうであり、金利が安いから株へ、というロジックはありえない」(以上引用です)とありました。

「金利が下がると、株価が上がる」と言われますが、長期で見るとどうなのか？を、見落としていた可能性があります。

**2012. 04. 17**

## **ちょっとした言葉が力に**

今日は、アポなしの相談、来客もあり、バタバタしていました。新規相談の方は、事務所の前に着いてからもウロウロされ、中に入るかどうか迷われていたとのこと。

「はじめて来られる方の、不安な気持ちは理解しましょう」という言葉は、事務所の基本マニュアルにも入っています。

今日で完了になった業務では、お客様から、「自分たちでは絶対にできなかった」というお声をいただきました。

ちょっとした言葉が「力」になったり、逆に「反省」になったりする中、担当スタッフが直接聞いてもらえなかったのは残念ですが、きちんとお伝えするようにしています。

**2012. 04. 18**

## **その人の考え方と生き方**

ずっと「毎週録画」をして見ていた「ガイアの夜明け」を、録画の登録から外しました。

「カンブリア宮殿」「ソロモン流」「情熱大陸」なんかと比べ、どうして面白くなくなってきたんだろう？としばらく考えていましたが、原因として考えられるのは、

その「人」を取り上げた番組ではない、

「その人の言葉」で語られるシーンが少ない、

話が「深く掘り下げられる」前に、次の話に飛んでしまうような感じが不満だ、からという気がします。

番組の好き嫌いはその人の価値観の問題なので、「嫌なら見るなよ」と思われだけの話ですが、

私にとって一番参考になるのは、いろいろな人の「考え方、生き方」が見えること、という気がするので、自分の頭の整理のために書き残しておきます。

**2012. 04. 19**

## **感情が誘導されてしまう**

机の前に落ち着いて座っていられる時間が少なく、バタバタしていますが、一時期仕事がストップして、「自分たちで動かしていかないと」と書いたのが2週間前。

「今のうちにやっとかないと・・・」と思っているうちに、動き出す時は一時なもの、いつものことです。

常に新しいお仕事が入らないと事務所はやっていけないので、その部分を見るとありがたいことです。

ところで、新聞で、「増税」とか「行政サービスカット」といった記事と共に、「そういうことは困る」という誰か分からない人のコメントを並べて載せられているのは、罪なことをしているんじゃないかなあとと思います。

確かに困ることかもしれませんが、『高齢者ら落胆の声』と強調して書かれると、行政が「ひどいことしている」という方向に、感情が誘導されてしまいがちです。新聞も引いた目で読まない。

**2012. 04. 20**

## **余計な経験もどこかで**

今日は、私が後見人になっている被後見人が名義人となる相続登記を申請。

司法書士としてではなく、「個人」の資格でもオンライン申請できるよう、私の住基カードに「公的個人認証」のデータを入れてきた話は以前に書いた気がしますが、

個人のカードを使えるように設定すると、そのパソコンでは司法書士のICカードに反応しなくなるみたい？

「紙の申請じゃだめなんですか？」という冷たい声を聞きつつ、普段登記申請には使っていないパソコンを、個人のカード専用を設定し直しました。

オンライン申請による減税額はわずかなのですが、金額の問題ではなく、余計なことでも経験しておく、どこかで使える場面が来るかも？とやってやっています。

**2012. 04. 21**

## **「当然」だと思っはいけない**

日頃の業務と結びつく話なので書きますが、今日はお寺さんが来るのを2時間以上待ち。催促の電話をしてからも、50分待ち…。

「これじゃ、サービス業は失格」という私の言葉に、親戚からは「サービス業じゃなくて、宗教家なんでしょう」と。

でも、本当は「もう来なくて結構」と言われるかもしれない。

どうやって生計を立てているか？を考えたら、「特別な立場」にいると思われている人であっても、サービス業の感覚が必要なのは、変わらないんじゃないかと思います。

例えば、病院や役所の対応なんかでも、少し前と比べると、随分と変わってきていますよね・・・。

「頼んでもらって当然」「対価を受け取れるのは当然」と思ってしまっていないか、自分たちの仕事の中でも考えておきたい部分です。

2012. 04. 22

## 仕事に就く前の準備

今日は、近所のスーパー銭湯に行ってマッサージ。

最近の休日は、少し離れた温泉に足を伸ばすことを優先していたので、久しぶりの過ごし方です。

その後、2時間半も昼寝してしまい、心身ともに一気に楽になりました。

さて、どの本を読もうかと選んでいたところ、「司法書士事務職員のための 法務アシスタント読本」(古い版です)が食卓の上にあります。

あまりにもキレイなので(←これは嫌味です)、いつものようにマーカーで汚しながら読むことができず、付箋が付いていますが、今読んでも「深い」ことが書かれてあるなあ・・・と。

私自身、仕事を始める前からヨレヨレになるまで読んで、以後、これから補助者を始める何人もの方にお勧めしてきましたが、仕事に就く前にそういった「準備」が当たり前にできるかどうか。



スタートする時点で差ができてしまう、逆に、ちょっとしたことで前に進むことができる、ひとつの分かれ目であることが、今になって分かります。

**2012. 04. 23**

## **連休前の一週間**

今日は、新規相談が1件、打ち合わせが3件。

ランチは、遊びに来てくれた司法書士仲間と一緒に。

仕事の話半分、それ以外の話半分ですが、後者の話は、司法書士の仕事を、引いた目で見直すきっかけになります。

仕事を運んで来て下さった方には、感謝です。

こちらも余談がたくさんで、過去を振り返っているうちに、信頼を深めることができた気がします。

「GWに入る前に」という指定であったり、事務所としても区切り前にクリアしたいことが重なって、今週は予定が立て込んでいます。

明日、提出が必要な書類が欠けていたことに、夜になって気付きました。

これから少しやって、残りは明日の朝に…。

**2012. 04. 24**

## **「不動産を手放す」選択**

それぞれの事情、思いがありますので、片方に決め付けるつもりはありませんが、



住宅ローンに関するご相談の中で、「支払えるけど、もう不動産は要らない」といったお話を聞く機会が、増えている気がします。

今まではどちらかという、「家だけは何とか残したい」と言われる傾向が強かったのですが。

住宅ローンの残債務のほうが大きければ、売りたいくても売れない。

全額の返済をしなくても担保を外してくれる「任意売却」も、延滞がなければできない。

支払えるのに支払わないのであれば、「支払不能」とはいえない。手放すにもいろいろと問題がありますが、「家は要らない」は、たまたま私が聞く機会が多いただけなのか、ひとつの傾向になっていくのか。後者であれば、背景にどのようなことが考えられるのかも、見ていきたいと思います。

**2012. 04. 25**

## **早く準備すれば大丈夫**

今日は、新規相談と打ち合わせが合計5件。

相続、会社設立から、個人再生、自己破産まで含まれています。「どんな仕事が多いですか？」と聞かれることがあります。現時点で考えると、「うーん、分かりません」です。

自己破産の申立準備されている方から、「支払督促が届いた」との話。

「とうとうそんな手段まで使って・・・」と思っていましたが、日付を見ると、入れ違いになっただけの様子。

でも、結果的にですが、申立まで早く進めることになりました。「早く準備しなかった自分が悪い」と、依頼者の方に言っていただけのも救いです。

**2012. 04. 26**

## **できる体制を整えること**

連休前、年末のような感覚で仕事をしています。

日付指定のない案件も、私が「キリのいいとこまで」やろうとするので、周りは仕方なしに付き合ってくれてる、というのが正解かもしれませんが。

私が言わなくても、各自が自分で優先順位を考え、どんどん仕事を進めていってくれる雰囲気。今日みたいな感じはいいなあ、と思ってました。

「仕事は、できる体制が整っていないとやってこない」

私はそう考えているので、外部から追われる前に、「どんどん来てください」と言える状態を作っていたいのですね。

**2012. 04. 27**

## **仕事に専念できること**

やるべきことが重なって、今日はみんな残業してくれてました。

一人は、昼ごはんも食べずにやってくれ、一旦帰ったのに呼び戻し…。

家庭に戻ると、それぞれまた違う役目を背負っている中、私は好きなだけ仕事をする事ができます。

同じマンションに住んでる方でも、同じ時間に家を出て、買い物袋を持って帰って来られるのも同じ時間、である奥様方もいます。「自分の時間」なんて、全然ないんだろなあ・・・と思います。

仕事に専念させてもらえるのは、何よりも恵まれていること、と思ってやっています。

2012. 04. 28

## 『野村の実践「論語」』

『野村の実践「論語」』（野村克也著）を読みました。

私は、野村監督の組織論、人生論が好きなのですが、この本では、「論語」と野村監督の考え方をリンクさせ、「野村の言葉」→「論語の抜粋」→「通解」→「野球に関して記述された野村監督の本文」という構成になっています。

しかし、論語の本文だけを見ても、私には難しくて意味が分かりません…。

野村監督が本を読み漁って勉強を始めたのが、現役を引退して、評論家になってから、という話は、はじめて知りました。いつ勉強を始めても、遅すぎることはないんですね。

「猫の目オーダー、場当たりの選手起用…」

「四番打者は欲しい。三番、五番の存在も大きい。だが、それ以外に秀でた打者は必要ない」など、

一昨年に書かれた本ですが、組織論の部分で、今年の巨人の不調を裏付けられると思われるような記述が何か所がありました。

2012. 04. 29

## 旅先で見えるハードとソフト

昨日今日と天気が良く、絶好のドライブ日和。

G Wの旅先に選んだのは、三重県志摩市の浜島温泉です。



有名どころではないですが、繰り返し新聞に広告が載っていたので、そのうち頭の中に情報が登録されていきます。「リニューアルされた部屋ができた」広告を見たのがいい機会でした。

窓から見える海の眺めは、最高。

穏やかな海を見ているだけで、癒されます。

部屋も料理も良かったので、満足して帰ってきたのですが、掃除のことや、接客のちょっとした部分で、おしいなあという点に気が付きました。

くつろいでいる間も経営者としての視点は機能していて、いろんなことを感じています。「掃除」は誰にでもできるように、実はそうではないことが分かります。

**2012. 04. 30**

## **ブログが目指すもの**

『「人脈」と「収入」をザクザク生み出すブログ文章術』を読みました。

文章の書き方の基本的なことから、ブログを書く中で心掛けるべきこと、注意点などがまとめられています。

- ・ネガティブなことは書かない
- ・非難されようと意識しすぎない
- ・特定の物や人を批判しない
- ・可能な限り言い切る

本書に書いてある上記の注意点は、意識していないと、ついついミスしてしまう部分。「はっきり書かないと伝わらない」けど、



「はっきり書くと、非難の対象になることがある」こともあり、そのバランスは難しいです。

タイトルのように、ブログを書くことで、「収入」に結び付けばそれに越したことはないですが、「集客」を意識して書くと、読者に伝わります。

なので、「仕事に結び付ける」ことを目的にはせず、司法書士としての自分に、司法書士以外の色付けをして、「他の人にはなくて、自分にあるもの」（本書の表現のまま）を探していくのが理想です。

**2012. 05. 01**

## **公共料金は口座振替で**

今日は「1日」のため、期日指定の会社設立が2件です。

連休に挟まれた平日は、仕事を休んでお出掛けの人も多いだろうと、気楽な気持ちで銀行の窓口に出掛けました。

今回だけ、窓口で、後見人になっている方の入出金をする必要があったので。

結果、ATMコーナーは外まで人があふれているし、窓口も25人待ち。

普段銀行には行かないので、今日が逆に「混む日」であることを考えなかったですね…。

窓口で、公共料金の支払いをするための方もいらっしやたみたいですが、

口座振替を使える支払いは自動で落ちるようにする等、その列に並ばなくていい方法があるのであれば、考えたほうがいいんじゃないかなあと思います。

**2012. 05. 02**

## **司法書士とFP業務のリンク**

贈与の登記関係書類にご捺印をいただくため、ご自宅を訪問。

「吉田さんみたいな仕事をしてる人は、自分からしたら懂れなんや」と言っておりました。普段、そんな意識は全く持っていないので、

そう言っただけの職業に就けていることを、ふと幸せに感じた瞬間でした。

さて、この2日もいつものように仕事が動きました。

明日明後日も来客があります。

名義変更の登記でも、相続や贈与が混じって数連件になったり、相続人の方の人数が多かったり、あとは、FPの資格があるからという理由で、相談に来ていただけることも増えてきました。

私の事務所だけで解決できないことは、周りの方のお力もお借りして、対応させていただいています。

**2012. 05. 03**

## **過去の特徴もいずれ普通に**

今日は、奈良でも、少し遠い所からご相談に来て下さいました。ありがたいことです。

ホームページ経由でご相談いただくのは、やはり圧倒的に堺市の方が多いです。

でも、私がホームページをヤフーにカテゴリー登録した頃は、大阪の中でも6件くらいしか司法書士の登録がなかったので、大阪市内からのご相談も多かったです。大阪地裁の第6民事部には、よく通っていました。

さすがに今みたいにホームページが乱立すると、大和川を渡って来て下さる件数は減りましたが、ホームページを持っていることが「特徴」だったというのは、今になると逆に信じられないこと。

過去の特徴もいずれそれが当たり前になり、そんなことの繰り返しの中で、自分が何をやっていくか、ということですね。

**2012. 05. 04**

## **「日本人メリット」という言葉**

事故を起こしたバスの運転手さんが、十分な日本語を話せる方ではなかった、というニュースから思い出した本。

「10年後に食える仕事 食えない仕事」(渡邊正裕著)

この本には、日本人である必要がなく、特別な付加価値の高いスキルを必要とされない仕事(本書の表現によると「重力の世界」)は、世界の最低水準価格まで下がっていく。

一方、「日本で生まれ育った日本人でないと身につけづらい特殊性」(本書の表現のまま)が必要な職業は、これからも生き残っていく、ということが書かれています。「日本人メリット」という言葉、はじめて目にしました。

バスの運転手には触れられていませんが、タクシーの運転手は前者だとされています。

ちなみに、弁護士、税理士、不動産鑑定士、社会保険労務士は後者だと書かれていますが、司法書士には触れられていません。

日本文化の理解、日本語によるコミュニケーションが不可欠な職種であれば、後者という解釈ができるのでしょうか、機械的な仕事をしているのであれば前者?そもそも資格自体がどうなるか分からない、というのも現実・・・。

派遣労働に対する制限、最低賃金の引き上げ、という方向に動いている人もいる一方、「そんなことを言ってる場合じゃない」ことを理解できる本です。

**2012. 05. 05**

## **医療にも限界あり、か・・・**

「大往生したけりゃ医療とかかわるな」（中村仁一著）

任意後見の打ち合わせをしていた時、「読んでおいたほうがいいよ」と勧められた本。

私自身、「風邪引いたかも？」と思うと、早い目に薬を飲んでしまうほうなので、薬や医療との関わり合いについて、根本から考えさせられる内容です。

『息を引き取る瞬間は苦しいもの』というイメージがありますが、この本によると、「死に際は、何らの医療措置も行わなければ、夢うつつの気持ちのいい、穏やかな状態になる」（本書の表現のまま）とのこと。

でも、そういうことは、なかなか理解できないですね・・・。

法律家にも限界があるのと同様、医療にも限界あり。

きれいごとを排除し、皮肉&ユーモアも含まれた文体に、引き込まれて読みました。

なお、リビングウィルについての記述には、「知識」として知っておかないといけないことがあったので、また場所を変えて書きます。



2012. 05. 06

## 一流の仕事人の心遣い

『リッツ・カールトン 一瞬で心が通う「言葉掛け」の習慣』（高野登著）

挨拶、褒め方、不満を持たれた時の対応等、

ちょっとした言葉のコミュニケーションによって、お客様との絆や信頼を深めることができる、という話を、たくさんの具体的なエピソードを元に紹介されています。

しかし、ただ単に「言葉」のテクニックの話ではなく、その背景にある「一流」の人による心遣い、仕事に向かい合う姿勢が伝わってきます。

「感性のアンテナとレーダーを磨く」という表現が本書にあります。どんな仕事であっても必要な感覚でしょうね。

「一丁前のレベルで止まってしまう作業員と、一流のレベルを目指すプロの仕事人との差」（本書の表現のまま）や、「おせっかい」と「おもてなし」、「余計なお世話」と「気遣い・気配り」の境界線など、なるほどな…という話がたくさん詰まっています。

2012. 05. 07

## 専門家が関与するメリット

今日は、打ち合わせ4件。

うち2件は、会社設立をしたお客様に、税理士さんをご紹介します。

会社設立のお仕事は、税理士さんからのご紹介も多いのですが、逆の場合もあります。

費用のこともありますので、「自分でやってみます」「おいおい考えます」「自分で探します」というお客様には強制しませんが、「決算」「経理」という部分に限らず、最初から見てもらうほうがいいのではないかと、ご提案だけはしています。

私の事務所も、経理の担当者が「完璧」に近いところまで仕上げてくれていますが、それでも訂正を言われることがあります。そういった形式的なことだけでなく、本来、専門家が関与する価値は、書類には残らない部分にもたくさんあるのだと思います（自分の仕事もそうありたいです）。

**2012. 05. 08**

## **定型化できるできない**

過払い訴訟に対する業者側の準備書面を見ていて、それ以前に取引が終わっているのに、平成18年以降のことについて延々と書かれていたり、

定型的な書式に当てはめて出されていることが、見えることがあります。

案件数が多過ぎて、個別に対応しきれない（それと、本当に争うつもりがない）のでしょうけど、立場が逆であれば、相手に指差されることはやりたくないです。

私の事務所でも、「案件それぞれ」への対応が基本ですが、全てが「その都度」となるとやっていけないので、定型化していい部分、できない部分を見極めて、

その比重の置き方によって、事務所のカラーが違ってくるように思います。

**2012. 05. 09**

## **複数の人ができるよう**

今日は、相続放棄の申し立てが1件。

時効を援用する内容証明郵便の発送が1件。

電子内容証明郵便の発送作業をしてくれるスタッフがお休みだったので、書面で出すほうが楽か…と思いつつ、マニュアルを見ながら、自分で触っていました。

「ある人しかできない」ことを作ってしまうと、その人が休んだり、いなくなると困るので、複数の人が同じようにできるようにしておくことも、事務所内の危機管理のひとつです。

**2012. 05. 10**

## **エレベーターを設置しない選択**

近くの回転寿司屋で昼食。

杖をついた高齢の方が、付き添いの方と一緒に、店につながる階段をゆっくりゆっくりと上がっておられます。

私自身、少なくとも2階までの建物であれば、エレベーターの有無を気にしませんが、祖母と歩いていた時、「エレベーターがない」事実が、大きな問題であると気づきました。

でも、自分で事務所を出す場所を考える時、エレベーターがない建物は、最初からアウトです。「来てくれる人」のことを考えると、そういう結論になります。

エレベーターの設置、維持にはコストがかかることですが、これからの時代、大きな企業であればなおさら、階段を上がるのが大変な方への配慮があってもいいんじゃないか、と思います。

**2012. 05. 11**

## **売買や担保設定のお仕事**

5月なのに、冬みたいな気候に逆戻り。

気温も低いですが、事務所の湿度が35%まで下がってました。今日はお客様に指定してもらっての、金融機関でのお仕事です。金融機関の方との世間話の中で、「うちとは取引ありますか」「近くの店舗の仕事をされてますか」と聞かれることも多いのですが、いつも「ありません」です。

一時期、もしかしたら支店に入れてもらえるのかも？と行動していたこともあります、話がなくなってホッとした自分もいました。

売買や担保設定のお仕事は喜んでさせてもらっていますが、その中でも、自分の好きなスタイルでやっていけるのが一番です。

**2012. 05. 12**

## **同じことを繰り返せない**

ゴルフスクールに早く着いてしまったので、他の方の練習風景を見ていました。

やはり、先生のフォームのきれいさ、スムーズさはダントツです。

同じ打球を出すためには、同じフォームで繰り返すのが前提条件。

なおかつ、合理性を追求すると、スムーズな動きに行き着くのでしょうけど、きれいに動かそうと意識しても、身体はきれいに動きません。

「同じことを同じように繰り返す」なんて、簡単なことのようにですが、実はそうではないのだ、ということ、ゴルフを通じて感じています。

**2012. 05. 13**

## **C F P 試験 5 科目目へ**

今日から、C F P 試験（リスクと保険）の受験勉強を再開です。生命保険、医療保険、個人年金や損害保険の基本的な仕組み、それにまつわる税制等を学びます。



試験は、6月17日。

今回はかなり早い段階で講義のDVDを見れていたのですが、途中体調を崩していたり、仕事優先にしているうちに、結局1ヶ月前になってしまいました。

というより、切羽詰まらないと動けないのはいつものこと。

— 昨年、相続と不動産。

去年は、タックスとライフプランニングときて、リスクと保険で5科目目ですが、やっと全科目制覇が見えてきたので、なんとか勉強時間を確保して、きちんと仕上げられるようにしたいです。

**2012. 05. 14**

## **漠然とした思いでは足りない**

今日は、京都まで売買の取引に。

電車の中では、昨日の流れで問題集を復習。

昨日、一日かけて60問まで進んだところ、34問目まで見直すことができました。

目的意識があれば、ちょっとした時間でも有効活用です。

振り返れば、勤めていた頃、通勤の電車の中で本を読みだしたのは、「独立する時期」が決まった時からでした。それまでの4年半は何をしてたんだろう、と思いますね。

「漠然とした思い」と、「確定した予定」では、力の出し方には圧倒的な違いが生じるものです。

**2012. 05. 15**

## **掃除と経営の関係**

『「お客様の幸せ」のためにディズニーはまず「おそうじ」を考え  
た』（安孫子薫著）

東京ディズニーリゾートの清潔さの基準が、「そこで赤ちゃんがハイハイできるかどうか」であること、通路は15分ごと、トイレは45分ごとに掃除をしていることから始まり、その徹底さを初めて知りましたが、

掃除は、掃除そのものが目的ではなく、「ハピネス（幸福）の提供と安全の確保のため」ということなので深いです。

「清潔さの持つ価値は、企業が提供しようとするサービス、そしてその基になる経営哲学の具現化における、とても重要な要素のはず」（本書から引用）とありますが、私の中にも仮説があります。

何度か書いてますが、「掃除がきちんとできている組織は、経営がうまくいっている」。

その逆は、結論も逆です。

『「汚いけど繁盛し続ける」ことは決してない』（本書の表現のまま）という言葉は、心に留めておきたいのと、ディズニーリゾートまで検証しに行きたくくなりました。

**2012. 05. 16**

## **登記とその周辺知識**

今日は、新規相談1件、打ち合わせ2件と、司法書士会の電話相談担当です。

新規相談はご紹介でしたが、ホームページの相談フォームから予約を入れて下さいました。

仮に紹介のお仕事が100%であったとしても、お客様の都合を考えると「ホームページは必要」ということになります。

メインは登記の話ですが、火災保険のことにも話が及びます。

火災保険も「不動産」にかかわることなので、知識を備えておかないといけない、ことを感じる機会が増えていきます。

**2012. 05. 17**

## **過去に毎日通った場所**

今日は、大阪環状線の大正駅で下車し、お客様宅をご訪問。

大正は、15年前、私が社会人生活をスタートさせた場所です。

事務所があったビルの前も通り、司法書士試験の合格発表の日に、食事に連れて行ってもらった「すし半」で日替定食。

ひとりで、懐かしさを楽しんでいました。

自分の事務所も含め、今、そこで過ごしているのが当たり前であっても、いつまでもそうだとは限りません。

後で振り返った時、「あの時は楽しかった」と思えるような毎日を、過ごしていきたいと思います。

**2012. 05. 18**

## **専門以外からでも語れること**

傍聴席で見ていた裁判の先行事件。

裁判官と原告代理人が、「終結させるかどうか」で議論していましたが、「ボクの長い経験ではね…」と、裁判官は法律論ではない部分に話を持っていきました。

その是非は別として、

「専門家」になろうとしたら、ある一点を極める必要があります。その過程で、無駄な部分をそぎ落として進むこともあるかもしれませんが。

でも、「そこ」だけを見ていると、専門の本質が見えなくなる、こともあると思います。

専門を極めるため、私自身足りないことがたくさんありますが、その周辺のことや、違う立場にいる人の気持ちも見える人間でいたいもの。裁判官の話に、そんなことを考えていました。

**2012. 05. 19**

## **技量には差があるもの**

最近の土曜日にしては珍しく、来客の予定なし。

忙しい時は土曜日も予定が入り、落ち着いている時は入りません。どうも、そんな傾向があるみたいです。

連休を挟んだので、一時休んでいた歯医者通いも再開。



1月に発覚した虫歯の他にもう1か所、過去にかぶせていた金属に穴が開いていて、中が虫歯になっている可能性が高いと言われていた箇所。開けてみると、やっぱり虫歯でした。

以前に通っていた歯医者の見落とし。

インプラントの手術をめぐり、歯医者の資質を問題視されることも増えているようですが、「大往生したけりゃ医療とかかわるな」を読んで余計に、

「医師の力量には差があるもの」という現実を、当然のこととおっておかねばならないのだろうと思いました。あって欲しくはないですが。

**2012. 05. 20**

## 「技術力」という言葉

少し古い話になりますが、5月10日の「カンブリア宮殿」は、富士フィルムHDの社長、古森重隆さん。

そういえば、デジカメ生活になってから、写真フィルムを手にすることはなくなりました。

「写ルンです」を使ってた時代もありましたね…。

競合他社が破たんした中、化粧品や医療、テレビの分野などで技術を応用し、会社全体の売上げをむしろ増やしている、という話。

「環境の変化への対応」は、どんな分野でも大きな課題になっていると思いますが、これほどまでに見事な変わり方があるんだなあ…と。

『これからの時代、変化がかなりドラスティックですから、小手先の変革、改革じゃ済まない場合が多い。そうした時に、ダイナミックに変革を賢く、正しくできるかどうかということが一番大事だろうと思う』

「そのダイナミズムを支えるもの何？」と問われて出てきた言葉が、『技術力』（『内は社長の言葉から）。

他にも、私もそんな風に言えるようになりたいと思う発言がありましたが、「技術力」という言葉、心に留めておきたいと思います。

**2012. 05. 21**

## **信頼を取り戻せるうちに**

債務整理の受任の場に、ご家族にも同席してもらいました。

今の状況と、解決の選択肢を一緒に聞いていただきます。

私が第三者の立場でお手伝いできることには限りがあるので、身近な支援者。厳しくも、温かく見守って下さる方の存在は大事です。

しかし、金銭の問題が原因で、ご家族がバラバラになってしまう場面も、たくさん見てきました。

信頼を失っても、信頼を失ったらいけないのですが、まだ取り戻せるうちに解決を、と思っています。

**2012. 05. 22**

## **上手にご利用いただくため**

ちょっとした用事を言って下さった社長さんが、「費用だけはちゃんと請求してよ」と言い残して帰られました。

本来の目的とは違う名目で近付いてこられるとか、動いてもらっても対価は支払わないとか、それは困る「利用」のされ方だとして、

個人の方であっても、会社を経営されている方でも、必要な時に、上手に利用してもらえる存在でいたいと思います。

特に継続的に付き合いがあるお客様は、「ここまでは自分でやる」「ここからは頼む」といった部分で、うまく見極めて頼んでいただいています。

頼みなれていない方に対しても、どんな形でお役に立てるのか。その対価はどの程度なのか、を分かりやすく伝えていくのも、私の役割です。

**2012. 05. 23**

## **何でも表紙を付けてしまう？**

親族の間で名義変更をされるため、「権利証を」とお願いすると、大量の書類が届きました。

私の事務所でも判別できないと困るので、必要な権利証は「法務局の受付番号」で特定するようにしていますが、

抵当権抹消の登記済証に表紙が付いていたり、建物滅失の登記済証に赤枠の紙が使われていたり、素人の方には見分けが付きにくいです。登記簿謄本が、権利証の表紙に綴じられていることもあります。

処分されるかどうかは別として、「今後も必要になるもの」「使うことがないもの」は、整理してご返却することにします。

ちなみに、私自身の権利証（登記識別情報）は、収納されていた大きな袋は処分させてもらって、中身だけを保存しています。司法書士として普段やっていることと、消費者に立った時にやっていることとが違います。

**2012. 05. 24**

## **メリットを考えてくれるかどうか**

大阪では、売主買主で違う司法書士が付くことも多いですが、登記申請は双方代理が許されているので、売主と買主、担保を付ける側と付けられる側という、見方によっては相反する立場の方から依頼を受けて、手続きすることができます。

ところが、例えば「登記の内容はこれでよいか」といった問われ方をされると、中にはいろんな意味が含まれている可能性があるがあるので、微妙です。

契約書の作成なんかでも同じで、

土台を作って、当事者間で検討してもらおうとしても、どちら側から考えるかで、有利不利が生じることがあります。

争いがなくても、お仕事をさせていただく側としては、一步引かないといけない場面もありますし、依頼者の方も、「自分のメリットを考えてくれる立場の人かどうか」を、見ていてもらうほうがいいと思います。

**2012. 05. 25**

## **押し売りはしない**

過去に通販を利用した業者から、携帯に電話。

「お得な商品がある」と、こちらの都合も聞かず話し始めましたが、やり過ぎでしょうね…。お得かどうか以前に、押し売りされるのは嫌いです。

私自身も迷うことがあります。

依頼を受けたはずの案件の進行が止まると、「その後どうですか？」という電話はしますが、

例えば、他のお仕事をさせてもらった機会に、「遺言書作ろうかな。作ったほうがいいですよ？」程度のお話をさせていただいた方に、「どうですか？」と連絡すると、それは「営業」だと受け止められるかも？と。

そのひと声がかっかけて、話が進むこともあるのかもしれませんが、自分がされたくないことは、他人にもしたくない。

もっとも、ホームページ経由でご相談に来られ、その後の連絡がない方に対して、こちらから連絡することは一切ないです。依頼を強制することにはならないよう、線引きしています。

**2012. 05. 26**

## **C F Pの受験勉強進行中**

「C F P受験対策の問題集（リスクと保険）」、全277問は、2週間で解き終えました。あとは、試験当日まで、どれだけ繰り返し、同じ問題を読み返してきるか。



「保険」の中でも、生命保険は身

近ですが、損害保険は知らない種類の保険がたくさん出てきて、その経理仕訳の方法は？と問われると、余計に分かりません。

私の場合、最初に解いた時点で、問題部分に肢の正誤も明記し、大事だと思う部分にマーカーも引いて、汚してしまいます。2回目以降は「解く」よりも、「解説を読んで理解する」が基本。

司法書士試験から変わらない勉強スタイルです。

残りの金融資産運用設計は強敵ですが、今のところ、司法書士の仕事に一番近いはずの「相続」が、一番大変でした。それだけ、「相続」は奥が深いということでしょう。

**2012. 05. 27**

## **とりあえず事務所に**

土日の間、ゴルフスクールと歯医者に出たものの、事務所には行かず、自宅で勉強していました。

休みの日も、いつもの時間に起きて「とりあえず事務所に」が習慣。

家事からの逃避も含めて、事務所にいるほうが、落ち着くのです。

旅行に行って宿でくつろいでいると、「なんと静かな空間…」と感じますが、実は自宅も静か。今さらながら、そんなことを感じています。

それなら、試験が終わったら、何もせずに一日家でゆっくり…と思います。それができないのも私です。

**2012. 05. 28**

## **無料のために費やす時間**

堺の法務局に行くと、狭い無料駐車場に入るために、いつも以上に長い車の列。

空いていれば私も使いたいですが、最初からあきらめているので、100円支払ってコインパーキングに入れます。

1. コインパーキングに払う100円、200円はもったいない。

2. 無料のため、いつ空くか分からない列（少なくとも15分20分？）に並ぶ時間はもったいない。

さて、どっちと考えるか。

勤めている人であれば、自分の時給を意識するのは難しいかもしれませんが、すべてを人件費と比較して判断するのも間違いでしょうけど、

私であれば、「そんなところで時間を使ってないで！」と言っているといます（みんなが仕事で来ているとは限りませんが）。

**2012. 05. 29**

## **知りたいことの幅**

日々の業務で体験したことを、また別の機会に知識や情報として提供し、依頼者の方から対価をいただく、ということの繰り返しです。

当然、多くの事例を経験していればそれだけ、いろんな情報を蓄えられることにはなりますが、自分の事務所の中で目にできることは限られるので、

書籍やブログで知れること、同業の方から教えてもらう他、依頼者の方から提供してもらう話なんかも貴重です。

今日は、「最近、会社の銀行口座を開設する際、いろんな書類を出すように言われる」という話を聞いてましたので、会社設立のお仕事をさせていただいた方に、「どうでしたか？」とお聞きして教えてもらいました。

「知っておかないといけない」こともありますが、それ以上に「知りたい」ことの幅を、広げておきたいと思ってます。

**2012. 05. 30**

## **数字では割り切れない部分**

今日は、不動産売却の要否も含め、依頼者宅を訪問して打ち合わせ。

第三者の立場に立つと、住宅ローンを支払っていきそうかどうか、数字から客観的な目で見ることができます。

「返済負担率（年収に対する住宅ローン返済額の割合）は25%を目安に」と言われたりしますが、例えば再就職して年収が下がり、返済負担率が50%前後の数字になってしまっている、ということもあります。

しかし、住んでいる家を手放すということは、そこに住まれてご家族にとっては、とても重大な問題です。

我々が感情的になると、適切なアドバイスもできなくなります。そういう一面があることも頭の中に置きつつ、後悔のない方向に決断していただけるように、と思います。

**2012. 05. 31**

## **目の前のお話に集中**

午前中は岸和田簡裁。

10時の時間帯に、傍聴席で順番を待ちの人がいないのは、初めてです。

午後からは、打ち合わせ1件。新規相談2件。

先行の相談者が、事務所に着くのが遅れられ、さらに、次の相談者が早く着かれてしまい、落ち着いてお話ができず。

私自身が十分にお話しできなかったことを自覚している中、相談者の方に満足していただくのは難しいでしょう。



お約束して来ていただいたからには、その時間は、他のことに気を取られず、お話を聞けるように心掛けます。

2012. 06. 01

## 考えるだけで済みますのか？

いつも楽しみにしている、はんこ屋さんのニュースレター。

正月明けには、ウチも「事務所新聞を作ろう！」と考えて、便乗させてもらえるというありがたいお声もいただきながら、進まず…。



考えるだけで済みますのか、行動を始めるのか、ちょっとした違いが大きな違いです。

ついでに、出版社から「本を出さないか？」というお誘いもいただいています。

私が「おねがいします」と言えば進む話ですが、その一声が出てきません。

さて、今日は、3社間の合併登記の申請です。

後に控える諸々の工程を考えると、郵送で1日寝かす気にはなれず、添付書面は北大阪支局まで持参。司法書士にとっては、登記の完了が終着点ですが、多くの関係者が「その次」を待っている段階でもあります。

2012. 06. 02

## 司法書士事務所の分布

写真は、家族がたまたま広げていた堺市の地図。

そこには、10年前、私が開業する場所を考えていた痕跡が残っています。

地図の真ん中下に、仁徳天皇陵。左上に、市役所、法務局、裁判所がある堺東。

右下に、私が事務所を開設した三国ヶ丘。

郵便局、金融機関のチェックと共に、

堺市で登録している司法書士の事務所が、どのように分布しているか、赤ペンで丸印を付けていましたが、堺東には驚くくらいの赤印のかたまりができました。

今同じ調査をすると、少しはバラけているのかもしれませんが、「あえて堺東は外す」という選択、三国ヶ丘を選んだ選択は、今のところ正解だったと思っています。



2012. 06. 03

## 繰り返して身につける

C F P試験の2週間前になり、全体を見渡せるようになってきました。

問題集の後ろから見返したり、ランダムにめくって解いたりして、分野を超えて出題されても、頭がついていけるようにしています。

昨日の読売新聞に、記憶法の話で、『「ロウソクに火」反復』の記事がありました。

マッチは簡単に火が付いても、すぐに消える。

でも、ロウソクに火を移せば、長時間燃え続ける。

「初めからロウソクを使えばいいのと思うかもしれませんが、そうはいかないのが我々の脳。マッチの火を移し続ける繰り返しの中で、初めてロウソクが現れる。この順番を、人は変えることができません」（以上記事から引用）とあり、なるほど…と。マッチを擦る作業をせず、ロウソクに火がつかない…と嘆いていたらいけない、ということですね。試験当日には、ロウソクに火が付いているよう、繰り返し同じ問題を見返す作業を続けます。

**2012. 06. 04**

## **パズルの組み立てのように**

今日は、相続、贈与関係で、不動産登記10連件と5連件を申請です。

形式的な面もあるかもしれませんが、パズルの組み立てのように、ひとつ崩れると、全部が合わなくなってしまう感じもあります。

複雑だった権利関係が整理され、シンプルな形で登記簿謄本が出来上がってくる予定です。

不動産登記のシステムは、バージョンアップをしてもらい、登記簿閲覧の情報から、自動で物件情報の取り込みが可能になりました。

パソコンに助けてもらえるところはパソコンの力を借りて、人にしかできない部分に、力を注ぐことにしましょう。

**2012. 06. 05**

## **見慣れた形が標準に見える**

今日は、打ち合わせ4件。

うち1件は、今年の定時総会を終わられたばかりの中、来年の総会についての準備です。

会社の定款の内容について、経営者の方から議論を持ちかけてもらうのも、やりがいを感じる場面。「こんな定め方はできないだろうか」という提案に、宿題ができました。

定款といえば、私が設立に関与していない会社さんの定款を見ると、事務所によって、形がいろいろであることが分かります。

当然、見慣れた自分とこの形が「標準」で、「分かりやすく」感じる中、

定款の本文に条文が並んでいたり、複雑だな…、と感じる定款には、発起人の方との意思疎通があって作られたものだろうか？と疑問に感じるがあります。

**2012. 06. 06**

## **中学レベルの勉強は大事**

登録免許税の計算。

マンションの共用部分の計算方法について、司法書士スタッフが長い時間、法務局や市役所とやり取りしてくれていました。

聞いている私もしんどくなるくらいなので、電卓叩いて話をしている人はもっと大変です。

結局、計算の基礎になるのは割り算や分数の問題で、それくらい計算できるのは当たり前だろうということになりますが、今感じる事として、小学校の高学年や、中学校あたりで勉強していたことは、実はとても大事なことだったんだ、と。CFPの勉強をしても、同じことを思います。「あの人は〇〇大学だから」と、卒業した大学名で人を見るのは、私は嫌なのですが、もっと遡って、できる人は中学生の時から優秀だったんじゃないか、と。同じ学区（高校の）にいた人と一緒に仕事をしているので、余計にそういうことも感じています。

**2012. 06. 07**

## **自分で変えられる予定は変更**

今日は、予定に余裕がない中、もう一件新規相談が追加。「今日はこれをする」と始めた仕事には、朝10時以降、触ることができませんでした。当日予約のご相談は、他の事務所さんでは空きがなかったとのことで、私の事務所に来て下さったのはご縁なのですが、ひとつの仕事をお受けできるかできないか。それが積み重なると、経営的にも大きな問題です。知ってる人には、「当日になっても予定が空いてるなんて、大丈夫なの？（仕事がないんじゃないか）」と冗談半分で言われたりもしますが、「ここに電話してみよう」と思って下さったお気持ちには、できる限りお応えしていきたいです。

2012. 06. 08

## 「速く」と「深く」の両立

新しい案件を担当してもらおうとお願いすると、「私、今は無理です」の声…。

そんなこと言うか…という感じですが、その時その時に、手が空いてそんな人をお願いするようにしているものの、結構気を遣うシーンです。

仕事が速い人は、その分たくさん仕事を引き受けて、より貢献してくれます。そこをちゃんと見て、評価できる尺度がないと、不平にもつながる可能性も。

ちなみに、ただ「仕事が速い」だけでは不十分で、どこまで掘り下げて見てくれているか、というのも大事。

「速く」と「深く」は、矛盾する要素かもしれませんが、その両立を目指していかないと、いい仕事はできません。

2012. 06. 09

## 「分かりません」は通用する

C F P試験一週間前になり、平成23年第2回試験を、模試代わりに解いてみました。

合格点はクリアですが、2時間の制限時間ぎりぎり。

計算問題や保険約款の読み取りを後回しにしていると、最後は思考力低下で、投げやりになります。



しかし、同じ論点が形を変えて、繰り返し出題されていることが分かります。

仕事の中で「分かりません」は通用しませんが（正解のない問題は別として）、

試験対策としては、どうしても解けない問題はあるものだ割り切って、基本をきっちり押さえておけば、大きく崩れることはなさそうです。

**2012. 06. 10**

## **できないことを伝える**

問題になっていた、スカイマークが顧客に配布した文書。

私は、「それだけ無茶を言う顧客がいるんだろうなあ…」と受け止めていましたが、今朝の日経新聞に、社長のインタビューが載っていました。

「当社とお客様の関係は対等と社員に教えている。お金をいただく一方で、われわれは輸送を提供する。両方が納得した形ではじめて取引は成立する。もちろん航空会社を選ぶのはお客様。だが我々は提供できる価値、できない価値というのを事前に示さなければならぬのではないか」（以上紙面から引用です）

「できること、できないこと」を事前に示さないといけないのは、私の事務所でも同じこと。そこを曖昧にして進めてしまうと、後で「話が違う！」ということにもつながります。

しかし、ここでの「事前に」というのは、委任契約を結ぶ前。対価が発生する前であって、それでもウチを選んでもらえますか、という選択権が、お客様にある段階でないといけません。

2012. 06. 11

## 客観的に見てもらうこと

初めてお会いしたつもりで名刺を渡したのに、実は以前にもお会いしていた。それに気付いていないのは、私だけ…。

そういうのは、みっともないことで、失礼なことです。

さて、最近、個人再生の予定で申し立ての準備を進めていたのに、結局、自己破産をすることに、という事例が続いています。

事情はいろいろなのですが、一般的なこととして、2か月3か月であれば何とかごまかしが利いても、数か月となると無理が見えてきます。返済期間3年～5年となると、なおさら大変。

もちろん、「全然問題ない」という方もいらっしゃいますが、依頼者の方に言葉で伝えるのは限界があるので、いかにして自身の生活状況を客観的に見ていただけるか、を考えています。

2012. 06. 12

## 机の上はきれいにして…

今日は、住宅ローンのご相談。

シュミレーションをしていると、住宅ローンの選び方によって、完済までの金利が数百万円も違ってくることが分かります。

もっとも変動金利の「今後」は分からないので、変動もしくは固定のどちらが正解だったか、時が経過しないと分からない部分がありますが、いずれにしても「検討した結果」でありたいもの。

司法書士仲間の事務所には、久しぶりに訪問。

少なくとも、私の事務所よりかは仕事を抱えておられるはずですが、なんでこんなにきれいに片付いているのか。仕事の効率も違ってきますね…。



「机の上はきれいにして帰る」。

少なくとも、書類が混ざらないよう気を配っていますが、自分の机の周りを見ると、他人にはそれを言えません。

**2012. 06. 13**

## **元請けの立場に立つこと**

今日は、違った内容のお仕事が5件入りました。

継続的に声を掛けて下さる方も、ホームページ経由で来て下さる方も、私にとっては両方大事。仮に、どちらかだけで事務所が成り立ったとしても、きっと不安になるでしょう。

特定の取引先に左右されるとなると、なおさら。

仕事の内容が偏ることも、同じです。

そんな中で、社会の仕組みを考えると、業務の中でも感じることで、自分が元請けの立場に立てるかどうかは、大きな問題。

日々の仕事の中で、「下請けに出す」ということはないのですが、誤解を招く表現かもしれません。お客様から直接仕事をいただく立場に立てるかどうか、というのは、とても重要な部分だと思っています。

**2012. 06. 14**

## **黙ってやってる人はいる**

今日から、半袖で出勤です。

ネクタイを着けることも、しばらくないでしょう。

去年も同じこと書いてましたが、「節電節電」と言いながら、冷やされ過ぎていると感じる空間も多いです。

節電のことでなく、一般的なことですが、「すごいことをしています！」と口に出すよりも、黙ってそれ以上のことをしている人がいる。

そういうことは、多々あることなんじゃないかと思います。

ちなみに、エアコンを消すより、テレビを消す方が節電につながる、という説もあるみたいです。

**2012. 06. 15**

## **過去の権利証袋を見て**

今日は、遺産分割の話し合いに同席させてもらいました。

司法書士ですので、交渉事はできませんし、必ずしも皆さんが顔を合わせて話さないといけないわけではありませんが、ご要望があれば、集まれる時に、書類のことや手続きの流れをご説明させてもらっています。

ところで、先日、お名前の後ろに「殿」と付いた、うちの権利証袋を見付けたので、「いつの間に変わった??」とショックだったのですが、過去にお渡ししたものでした。

丁寧な表現だと思い込んでいた時期もありますが、「殿」は、「上から下」への言葉だと知ってから、使うことはなくなりました。

**2012. 06. 16**

## **C F P 試験の前日**

C F P 試験（リスクと保険）前日になりました。

休みの日も仕事に出ている時であれば、勉強時間が確保できないし、かといって、仕事が暇になっていると、「こんなことしている場合か」と不安に思うし。

その点、今回は、ちょうどいい感じで、勉強時間を確保できました。

なぜCFPの資格を目指すのか。

その知識や視点が、「司法書士としての業務に必要なだから」という考えは、ぶれずにいます。

それと、司法書士試験に専念させてもらえた環境が、どれだけ幸せなものだったか。当時を振り返って、それを感じることができるのも、毎回のことです。

**2012. 06. 17**

## **限られた時間内でやる訓練**

CFP試験、終了しました。

試験会場は、旭区の大阪工業大学、大宮キャンパス。

部屋の窓からは淀川が見えて、そんな風景の存在だけで、気持ちが楽になります。

今回は、事前の準備は「結構完璧」という自信があったのですが、時間が足りなくて、一部適当にマークすることになったのと、

「あー、これどうだったかなあ…。覚えていたはずなのに。」というのが何問もあって、詰めの甘さを感じました。

仕事でもそうなのですが、自分のペースで事を進めるのは楽です。

でも、普段マイペースでやっていると、「いざ」という時に頭が動かない。

試験の準備であれば、2時間という「限られた時間の中で問題を解く」練習を、もっとしておかなければならなかった、ということを感じています。

**2012. 06. 18**

## **機会がないと育たない**

今日届いた司法書士会の会報に、インターンシップ受入事務所の募集が載っていました。

昨年何かの拍子に、「来年はお願いしてみようか」と考えていた記憶がありますが、いざとなると、目の前のことに精一杯。

これまたある機会に、「仕事のパートナーに、自分よりも若い人がいるか？」と問われて、「うーん」と考え込んでしまいました。多くが年上の方、もしくは同年代。

自分ももっと若かった時、頼りなさにも目をつぶって仕事を言って下さっていた方がいらっやって、そんな機会を与えて下さったことで、自分が成長してこれたことに気がきました。

今の歳になると逆に、若い人から教えてもらえることが、たくさんある気がします。

**2012. 06. 19**

## **リスクの伝え方**

台風が通過中です。

「早く事務所に戻らねば」という意識があったのか、お客様との約束を勘違いして、1時間早く訪問してしまいました。

電車の車内アナウンスでは、「途中の駅で止まる可能性が・・・」と、気持ちの悪いことを言っています。

リスクを伝えておくほうが後でクレームを受けにくい、という部分もあるのかもしれませんが、それでも乗せてもらうしかありません。

日常業務の中では、専門家としての説明義務の問題になりますが、  
問題点を見落としていて、後で気付いたり、予測の甘さから解決が長引いたり、こじれたりすると、当然「なぜ最初から言ってくれなかったのか」ということになります。  
今日は、そういう反省もありました。

**2012. 06. 20**

### **おつりを渡す場面を想定**

今日は、仲介業者さんの事務所で、現金決済の売買です。  
金融機関での売買であれば、諸費用の支払いについて、それぞれの明細ごとに仕分けてもらった現金が出てきますが、「おつりが  
ない」「両替を」というやり取りがたくさん。  
私も、自分がいただく費用のおつりすら財布の中になくて、想像力が足りなかったことに気付きました。  
帰り道は、前々から気になっていた「リンガーハット 長崎ちゃんぽん」のドライブスルーに。注文した後、「おつりを用意してお持ちしますが、おいくらから？」と聞いてくれました。  
それくらい気付ける人間でいたいものです。

**2012. 06. 21**

### **目に見えないものの影響**

今日は、一日中、雨が降り続けました。  
事務所の中では、「何となく頭が痛いなあ」「腰が痛いなあ」という話をしていました。

天気と体調の関連性は、自律神経の問題から説明されるのが一般的なのでしょうけど、精神科の先生から、そのメカニズムがきちんと説明されているわけではない、という話を聞いたことがあります。

でも、そうやって、人によって程度の差はあれ、目に見えないものの影響を受けながら日頃生活しているものなんだ、ということが理解できれば、気持ちが楽になる面もあります。

自分の体を、100%自分でコントロールできたらいいですが。

**2012. 06. 22**

## **複数の目を通す必要性**

裁判所に行くついでに、普段は他の人にやってもらっている周辺の用事を、まとめて持ち出しました。

ところが、認証してもらった定款のデーターを入れてもらうフロッピーを忘れて行ったり、抜けていた部分が何点か…。

チェックする立場で、引いた目で見ていると気付けることも、自分でやろうとすると見落としが生じるもの。

昨日と同じような表現になりますが、形式的なことも含めて、そういうものなんだと理解して、仕事をするほうがいいと思っています。

事務所の司法書士から、「えっ、そんなことができるの？」ということも教えてもらいました。

こんなに変化が大きい時代だから余計に、複数のメンバーと一緒に仕事をできるメリットも感じています。

2012. 06. 23

## 旅の楽しみは誰のため？

今週のカンプリア宮殿は、「四季リゾート」の山中直樹社長。企業の保養所を無償で借り上げることによって、1泊朝食付き5,250円の宿泊施設を実現されている話でした。

1人の職員が、フロント、掃除、調理の何役も勤めて効率化を図っていることについて、「いらぬものは使わない、という当たり前のことをやっていかないといけない」と言われた言葉が印象的。

一方、大の旅行好きだった社長が旅行に行けなくなったことに対して、村上龍さんは編集後記で、

「わたしたちは、他者から幸福を得るより、他者の幸福に貢献するほうが、喜びが大きいのではないか」と言われていましたが、それは共感できるとして、

自分の家族のことを思えば、「自分は仕事で喜びを感じているから、土日も仕事で構わない」とは言い切れないところ。私は、自分が楽しみたくて旅に出るのですが。

2012. 06. 24

## 山の中で癒される

「日本三大美人の湯」に含まれている龍神温泉に行ってきました。

行きは、阪和自動車道の有田インターから、国道424号線経



由で3時間半。途中、2つ目の道の駅まで、昼食を食べられる場所を見付けられず、どうしようかと思うくらい山の中。

宿の方からは、「山の中で何もありません」と言われましたが、そんな環境を求めて行ってます。

大雨の後遺症で、「溪流」であるはずの日高川は「濁流」に。危険だということで、宿の混浴露天風呂は閉鎖でした。

帰りは、高速を使わず、いろいろと寄り道しながら、高野山経由で5時間。



山を降りてくる過程で、徐々に民家が増え、車が増え、暑くなっていく中で、「現実に戻ってくる」という感覚をたっぷり味わうことになりました。

**2012. 06. 25**

## **地域密着に限らない部分**

今日は、大阪市内まで、相続登記の打ち合わせに出向きました。頼んでいただく方にとっても、基本的には「近い事務所のほうが便利」だと思いますので、ご紹介を除くと、堺市のお客様が圧倒的に多いのですが、

「逆に離れた場所から来てもらうほうがいいんだ」というお話もありました。

業務に必要な情報ですので、私の側からすると、資産の内容を見せてもらうことは当たり前のことと考えてしまうのですが、相続に限らず、「周囲の人に知られたくない」といったお気持ちは、当然のことと思います。



2012. 06. 26

## 各自が看板を背負っている

事前に打ち合わせ済みの書類を、役所に持参。

「これはできません」と言われたので、「いや、事前に確認しましたよ」と私。

「誰ですか。そんなことを言ったのは」と言われる横に、それを言った方がいるのですから、困ったことです。

部署や地位を問わず、私にしたら「役所の人が言った」ですから、外部の人と接するシーンでは、それだけの責任を背負っているということ。

それは私の事務所でも同じことです。

一人の人の対応の良さから、「ここは全体の感じがいい」という印象を与えることもあるでしょうし、その逆のこともありえます。

2012. 06. 27

## 靴べらを使わないと

今日は予定が詰まっていて、バタバタ。

目の前のお仕事は当然大事なのですが、次のお約束の時間はあるし、電話も掛けなくてはならないし、そういうのが折り重なると、ぐったりときます。

さて、革靴を履く時、靴べらを出していただくことも多いのですが、いつも「なしで大丈夫です」と言って履いてしまいます。

ところが、いつものようにエイと履いてしまうと、「それは見逃せない」「革が痛みますよ」とお叱りの声……。

その話には前提があって、突然言われたことではないのですが、身に着けるものいかに無頓着であったか、それと、見ている人は見ているのだということに、気付かせてもらえた一日でした。

**2012. 06. 28**

### **相手によって態度を変えない**

個人株主の自己主張の方法が、少しずつ変わってきているような気がします。株主総会がどんなに荒れても、翌日には決議通知が届く。

これもひとつの現実です。

私自身、大阪で開催されるどこかの総会に出てこようと機会を伺ってましたが、今年も動けませんでした。

さて、相手が特定できないことなので書きますが、今日、スタッフから回ってきた電話でのこと。

先方の話し方が、自分に対する話し方と、先生に対する話し方が違うんじゃないか？という話もありましたが、相手の地位によって態度を変える人は、そこまでの人だ、ということなんじゃないかと思います。

日によって違うとか、内と外で違うとか、私にもそういう部分はありますが。

**2012. 06. 29**

### **習慣の中身にプレッシャー**

お話ししたいことがあったので、事務所に戻る時間をお伝えしておいたところ、近くの喫茶店で、お客様が待っていて下さいました。

最近は、毎朝ツイッターで一日の予定を書き込むようにしていて、「見てるよ」を伝えて下さっているのはまだ一部の方ですが、「お互い都合がいいように」という面と、「ほどほどに」のバランスを取りながら、とってやっています。

朝はツイッター。

夜はブログ。

いつの間にか増えた習慣ですが、「今日は書くことない…」にはならないように、というのは、自分に対して与えているプレッシャー。書くこと自体がプレッシャー、ではなくです。

**2012. 06. 30**

## 『「有名人になる」ということ』

『「有名人になる」ということ』

(勝間和代著)

帯には「勝間がまた嫌われそうな本出してる。」とありますが、全然そんなことはないと思います。



世に出るようになったのは、本業がうまくいかず、「有名人になる」というビジネスとしてだった、という話から始まり、有名人になることのメリットデメリットが本音で書かれている気がして、面白かったです。

「批判されてもスルーする」は、なかなかできないこと。並大抵の神経では「有名人」はやってられない、ということは、私も常々思っていることです。

「ありそうで、なかったものに対応する商品性」であるとか、「競争相手がいないところを見つけること」、「これまで市場にあふれ

ているものとはひと味ズレている必要がある」、「終わったコンテンツと言われたいためにはどうすればいいのか」とか、有名人になる気がなくても、生き方を考える中で、参考になる話がたくさん書かれていました。

**2012. 07. 01**

## **開業10年の区切り**

7月1日は、私が事務所を開業した日です。

10年前の今日、午前中に役員変更の申請書を出しに行き、勤めていた事務所に鍵を返しに行きました。

事務所に戻って、「これで自由になった」という開放感と、「守ってくれるものがなくなった」という不安感が混ざって、フワフワした感じだったのを覚えています。

当時の手帳を見ると、先輩から分けてもらった仕事、参加させてもらった相談会からいただいた仕事、父親の紹介での仕事の予定が、飛び飛びにポツポツと入っています。

自分の事務所を持てたこと自体がうれしかったこと。

当時の新鮮な気持ちは、いつまでも忘れないようにと思っています。

**2012. 07. 02**

## **完了待ちの商業登記**

先月末から今日も含めて、何件か商業登記の申請をしています。登記が完了するとメールで知らせてくれるので、管理はしやすくなっていますが、「まだかまだか」と待っている分もあります。ところで、昨日付でプロミスが商号変更しました。